

平成 23 年 5 月 27 日

平成 22 年度

事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

I. 学校法人森ノ宮医療学園	1
II. 森ノ宮医療学園専門学校	6
III. 森ノ宮医療大学	21
IV. 森ノ宮医療学園附属診療所、同施術所	68
V. 森ノ宮医療学園出版部	71

学校法人森ノ宮医療学園

大阪市東成区中本 4 丁目 1 番 8 号

I. 森ノ宮医療学園

1. 学園の経営課題に対する取り組み

平成22年度においては専門学校及び大学の質的充実及び事業拡大の計画を持ち、特に緑橋校舎において診療所機能をより拡充し、新たな整形外科医の雇用や教育研究の環境の充実に資するために高額医療機器(MRI等)の設置の実現に邁進した。また、専門学校において、より自由な時間割設定や教育環境の充実に資するためには、また、今までの内部留保を学生に広く還元するために、施設設備の充実の計画の実現、そして専門学校競争力のより強化策が学園全体の経営課題であるとの共通認識のもと、種々の施策を実施した。

加えて、大学においては看護学科の新設や大学院の創設など法人本部企画室で慎重に検討された計画について、本格的に文部科学省高等教育局大学設置室、私学行政課法人係、医学教育課看護係等へ積極的に出向き、設置申請のための相談を頻繁に実施した。その結果、看護学科においては入学定員 80 名を実現可能とする隣地実習のための病院他施設の確保と精緻な実習計画の立案を実現することができ、平成 22 年 8 月 31 日付けにて保健師助産師看護師法の第 19 条及び第 21 条に規定する保健師学校、看護師学校の指定を受けることができた。

また、大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)については、一番の隘路である特別研究指導教員の確保について、大学設置審議会からもほぼ申請した教員全員がその資格有りとの判定を得ることができ、当初の設置計画そのものを大きく変更せずに、平成 22 年 10 月 29 日付けで正式にその設置について認可された。

施設設備面では、大学の敷地内に待望の学生食堂を 6 月に竣工し、直ちに学生へのサービス提供が実現した。また、平成 22 年 6 月 15 日には新たに看護棟建築に着手し、平成 23 年 3 月 11 日 4,566.38 m²の校舎他が竣工、引き渡しを実現した。

学生募集状況においては、専門学校においては、平成 23 年度からの専門学校入学生に対し、学費の改定作業の検討にも入り、実際的には夜間部コース学生への修学支援の意味合いも含め、専門学校全体では、入学金および授業料において、全体で 10.4%(加重平均)の学費改定(値下げ)を計画し、現状において関西地区では高額な授業料となっていた本校の学費を進学しやすくするための改訂作業を実施した。入学定員割れの状態は免れないとの認識にたち、全学園的に広報施策や学費政策にも踏み込み、個別的な対応をより抜本的な戦略とするため、学費改定の検討について視野に入れた対策会議と課題解決のための施策を打ち立てた。

特に専門学校夜間部においては、修学奨励金の支給などを実施した。また、緊急的な志願者確保策もマスメディアだけに留まらず、地道なオープンキャンパス、オープンスクールの開催や大学においては教員の高校訪問など実施した結果、ほぼ入学予定者を 300 余名確保できた。

大学においては平成23年度開設の看護学科の学生募集及び入学試験に指定学校認可以降の 9 月から本格的にオープンキャンパス等を実施して、志願者総数として 456 名にのぼり、最終的に 88 名の看護学科入学者を確保することができた。

また、平成 19 年に開学してからの第 1 期生が 22 年度に第 1 期卒業生として 104 名を送り出すことができたが、国家試験合格率は、鍼灸学科においては 92.0%、理学療法学科では全国的に国試合格率が 74.3%と低調な中、本学においては 65.4%とさらに厳しい状況に終わった。

2. 主な事業活動

1. 森ノ宮医療大学 学生食堂の竣工（平成22年6月11日）
2. 森ノ宮医療大学 保健療学部看護学科届出設置申請、指定学校として認可（平成22年8月31日）
3. 森ノ宮医療大学 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）認可設置申請、認可（平成22年10月29日）
4. 文部科学省及び大学設置法人審議会による森ノ宮医療学大学設置計画履行状況等調査の実地調査が実施された（平成22年10月28日）
5. 平成21年度において開設した第二附属診療所（アムリ診療所）は、経営成績が不振であり、今後の回復も望めないこと及び臨床実習施設としての役割が無くなってきたこと等の理由により、本年度計画通り廃所した。

3. 森ノ宮医療学園の沿革

昭和48年（1973）	3月	厚生省より鍼灸師養成施設の認可を受ける
	4月	大阪鍼灸専門学校開校
昭和52年（1977）	4月	学校法人「森ノ宮学園」となり、あわせて専修学校医療専門課程となる
昭和57年（1982）	4月	附属診療所、附属鍼灸施術所落成
昭和60年（1985）	4月	卒後教育雑誌「鍼灸 OSAKA」創刊
昭和63年（1988）	5月	鍼灸師養成に関わる法律により修業年限3年となる
	11月	中国、大連市中医医院と学術研究提携を結ぶ
平成3年（1991）	7月	米国、Santa Barbara College of Oriental Medicineと教育提携を結ぶ
平成4年（1992）	7月	中国、南京中医薬大学と学術研究提携を結ぶ
平成7年（1995）	3月	この年の卒業生から文部省告示による専門士（医療専門課程）の称号を授与
平成8年（1996）	6月	中国江蘇省陰市中医医院と交流開始
平成12年（2000）	4月	柔道整復学科開設、法人名を学校法人森ノ宮医療学園、学校名を森ノ宮医療学園専門学校と改称
平成13年（2001）	1月	本校舎増改築工事完成 はりきゅうミュージアム開設
平成14年（2002）	1月	はりきゅうミュージアムにて代田文誌特別展開催
	4月	緑橋校舎増設
平成15年（2003）	3月	柔道整復学科第1期生卒業 創立30周年記念式典 校歌「みどりの風」制定
	4月	全日制アドバンスコース開講
	7月	アネックス校舎（第1期）完成
平成16年（2004）	3月	中国江蘇省江陰市中医医院と学術・教育協定締結
平成17年（2005）	2月	医療法人淳良会関目病院と教育提携を結ぶ
平成19年（2007）	4月	森ノ宮医療大学開学
平成20年（2008）	2月	第1回おおさか優良緑化賞・大阪府知事賞受賞
	11月	森ノ宮医療大学コスモキャンパス第2校地取得

- 平成21年(2009) 4月 森ノ宮医療大学 AMRI 医療センター (アムリクリニック、アムリ鍼灸院) 開院
- 平成22年(2010) 1月 森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック、みどりの風鍼灸院開院
- 3月 森ノ宮医療学園アネックス校舎完成
- 6月 森ノ宮医療大学メディカフェオープン
- 平成23年(2011) 4月 森ノ宮医療大学看護学科設置
- 森ノ宮医療大学大学院修士課程保健医療学研究科設置

4. 森ノ宮医療学園の概要 (平成23年4月1日現在)

1. 設置する学校

法人の名称		学校法人森ノ宮医療学園		事務所の所在地		大阪府大阪市東成区 中本4丁目1番8号		
設置する学校	学校名	学部・学科名等	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	
	森ノ宮医療大学	大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)		2	6	0	12	開設年度 平成23年
		保健医療学部鍼灸学科		4	60	0	240	開設年度 平成19年
		保健医療学部理学療法学科		4	60	0	240	
		保健医療学部看護学科		4	80	0	320	開設年度 平成23年
	森ノ宮医療学園専門学校	医療専門課程 鍼灸学科		3	180	0	540	開設年度 昭和48年
		医療専門課程 柔道整復学科		3	180	0	540	開設年度 平成12年

2. 役員の名

役員	氏名	就任	寄附行為上の選任区分
理事長	森 俊豪	平成9年5月	7-1-2
理事	安雲和四郎	平成9年5月	7-1-1
理事	安田実	平成11年5月	7-1-3
理事	三木完二	平成9年5月	7-1-2
理事	下條喜信	平成11年5月	7-1-2
理事	花谷幸比古	平成9年5月	7-1-2
理事	中田敬吾	平成14年5月	7-1-3
理事	清水尚道	平成22年11月	7-1-3
理事	荻原俊男	平成23年4月	7-1-1
監事	日根野文三	平成11年5月	
監事	小林由幸	平成14年10月	

3. 校地・校舎の概要

学校名（所在地）	校地現有面積	校舎現有面積	備考
森ノ宮医療大学・ 大学院 （大阪市住之江区南港北 1丁目39番1号）	15,995.24 m ²	7,209.83 （東校舎） m ²	学生食堂は平成22年 6月完成。（676.67 m ² ） 西（看護学棟）校舎は 平成23年3月完成。 （4,566.38 m ² ） なお、校舎面積 7,209.83 m ² は大学設 置認可申請書の「基本 計画書」の校舎面積に 加えて基準外の体育 館面積433.50 m ² を含 む。
		676.67 （学生食堂）	
		4,566.38 （西〔看護学棟〕校舎）	
森ノ宮医療大学 （大阪市東成区中本2丁 目5番41号）	1,329.40	198.76 （森ノ宮校舎）	
森ノ宮医療大学 計	17,324.64	12,651.64	
森ノ宮医療学園専門 学校 （大阪市東成区中本4丁 目1番8号）	1,560.22	5,253.67 （本校舎）	
森ノ宮医療学園専門 学校 （大阪市東成区中本3丁 目15番11号）	530.56	936.74 （緑橋校舎）	
森ノ宮医療学園専門 学校 計	2,090.78	6,190.41	
（大学＋専門学校） 合計	19,415.42	18,842.05	

5. 看護学科設置準備室について

1. 看護学科設置準備室の勤務者 村上生美、平川憲子、奥川裕子
2. 平成23年度看護学科開設に向けて以下の準備を行った。
 - ①設置の理念、教育目的・目標を設定した。
 - ②設置の目的に対して教育課程表を作成した。
 - ③教員を募集・選考した。
 - ④保健師養成課程を設置するに当たり文科省や大阪府庁と定員・実習について協議した。
 - ⑤保健師養成課程を含めた臨地実習施設を開拓した。
 - ⑥看護学科棟の建設に当たり、建築会議に参加した。
 - ⑦看護学科開設に必要な備品・消耗品・図書についてリストした。

提出した書類は以下のとおりである。

- ① 平成22年4月30日
「森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科設置届出書」
提出先：文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室
 - ② 平成22年5月21日
「森ノ宮医療大学 保健師看護師学校指定申請書（大阪府への進達願）」
提出先：文部科学省高等教育局医学教育課（大阪府私学課）
3. 上記2. の届出ならびに申請の結果、文部科学省高等教育局医学教育課より、平成23年4月1日付をもって、「保健師助産師看護師法」第19条第1号及び第21条第1号に定める学校（すなわち保健師学校ならびに看護師学校）として指定があった。（平成22年8月31日付）
 4. 看護学科設置に伴い学生募集のためにオープンキャンパス、高等学校教員対象の説明会ならびに高等学校訪問等を行った。
 5. 入学試験はAO入試1回、公募推薦入試3回、一般入試3回の計7回行い、88名の入学生を確保した（定員80名）。
 6. AO入試合格者10名に対して、入学前教育を次のように2回行った。
 - ① 夏目漱石著「こころ」読後感（感想文2000字程度を持参）の討議
看護学科における学修に対する質疑応答。
 - ② 講義1：学生の提出した感想文の傾向とレポートの書き方。
課題1：理科の履修内容と各自の課題について話し合い。
 7. シラバスの作成等、入学生を受け入れる準備を行った。

(村上 生美)

Ⅱ. 森ノ宮医療学園専門学校

1. 教務部門

平成22年度前半は受験生出願の出足が振るわず、教職員に危機意識が高まった。そこで入学定員数確保を目標に、事務・広報とより一層連携を強くし、協力して学校説明会や臨時入学試験等を実施するとともに、高校での出張講義等を積極的に行い、クラスの定員に満たないクラスもあるが、全体として鍼灸学科153名、柔道整復学科150名の定員数を確保した。

教務では、①良好な学習環境の整備や在学中のケア、さらに卒業後の就職や開業など経済的な安定化へのアシスト、②「臨床の森ノ宮」は本校の重要な根本的精神であり、常に他校をリードし、開学以来、優秀な卒業生を世に送り出してきた。その伝統を絶やさないためには、附属診療所での臨床実習の質の向上をはじめ、学外鍼灸院、施術所、医療関係、さらに業界はもとより他業種との連携や活用も検討し深めていった。③学生に対する指導、対応における教職員の質の維持向上、④教員自身が学会等の発表、投稿を積極的に行い学術的なスキルアップを図った。

以上を下に、平成22年度の実績を報告する。

○教務方針

(1) 教育環境整備計画

本校舎やアネックス校舎などの改築や整備が予定どおり完了し、22年度は、それを活用し教育の充実が図れるよう運営を行うことを目標とした。具体的には、

- (ア) 希望者へのゼミの実施（解剖学、生理学、鍼灸実技、統計、パソコン講座など）
- (イ) 定期試験、講習会、講演会などアネックス校舎や教室を活用した。

(2) 職員のスキルアップについて

- ①本年度は、鍼灸学科教員の資質向上を図るための施策については、新人初期研修とWHO/WPRO主導で経穴が統一された。その結果、教科書も内容が変更されたので、新教科書による勉強会を実施した。また、授業アンケートを実施し、教育効果の向上を図った。その他FD・新人研修は十分実施できたとはいえない。
- ②第59回全日本鍼灸学会が平成22年6月11日～13日に大阪国際会議場にて開催された。明治東洋医学院、関西医療学園専門学校、行岡鍼灸専門学校、本校の4校が中心となり、参加者約3,500名で学会を成功に導いた。本学園の教員・学生が担当した会場は、立ち見や会場外にモニターを設置する盛況であった。また、鍼灸学科の教員研修会が8月5日～6日に大阪国際交流センターにて行われた。本校が主管校で、盛況であった。その他、職員の学会等の発表、投稿を積極的に行った。
具体的には、全日本鍼灸学会、日本臨床鍼灸懇話会、日本刺絡学会、日本整復学会、股関節学会、生化学学会、森ノ宮柔道整復学術集会などである。
- ③成績不良者への指導
強化授業の実施、担任などによる面談により学生の学習状況や環境を早期に把握し適切な指導を行った。
- ④解剖学・生理学・鍼灸ゼミの開講、3年生成績不良者への学業指導強化
補講・鍼灸臨床ゼミなど積極的に行ない、底上げや鍼灸技術のスキルアップが見られた。また、国家試験合格率アップの方策として担任が中心となり、強化授業を実施し、底上げができた。
- ⑤国家試験不合格者へ教材の提供や個人指導を実施した。
- ⑥中国・アメリカとの研修は実施できなかったが、ドイツワイマル、イエーナ大学での講演やドイツ人ザルツマンなどが来校した。

(3) 自己点検・自己評価の実施

自己点検・自己評価について、報告書のとりまとめが遅れている。

(4) 校友会・業界支援

- ①大阪府鍼灸師会と森ノ宮医療学園校友会共催の合同学術講習会（平成22年5月23日）を開催した。その他、日本鍼灸師会や全日本鍼灸マッサージ師会など業界関係の研修会・研究会などへの会場提供を行った。

- ② 大阪府専修学校各種学校連合会などの事業（8月24日～26日）に協力した。
(尾崎 朋文)

2. 森ノ宮医療学園専門学校各学科の部門報告

(1) 鍼灸学科

1. 医療資格者コースについて

22年度入学生より、カリキュラムの変更を実施し、運営も順調に行われた。

2. 昼間部・夜間部カリキュラム変更に伴う対応について

21年度入学生より、カリキュラムの変更を実施し、運営も順調に行われた。

3. 研修・研究について

8月の東洋療法学校協会教員研修会は、南港のホテルコスモスクエア国際交流センターにて会員校42校から参加者263名が集まり、本校が主管校となり開催した。

また、10月の東洋療法学校協会学術大会は、東京で開催され3年生夜間部の学生2名が発表した。いっぽう、各学会および団体等の全国大会に対し、学生からの希望を募り、参加費の補助を行った。

4. 授業および実習等について

5月に体育実習を昼間部・夜間部1年生を対象として、昨年度と同様、救急講習を加え実施した。また、6月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生および医療資格者コース2・3年生を対象に実施した。7月に例年通り、サマースクールを開催し2年生においては、医療面接の講座を開講した。

5. 臨床実習について

みどりの風鍼灸院にて、鍼灸学科学生387名に対し臨床実習を行った。特に医療資格者3年生は夜間の時間帯を利用し臨床実習を行った。

6. オープンスクールの開催について

22年度は、13回開催された学校説明会に常勤教員が担当し、参加者に対して模擬授業等を中心に企画・構成・実行してきた。

7. 大阪府教育センター「大学等オープン講座」について

8月、大阪府の幼・小・中・高・盲・聾・養護学校の先生対象の夏期セミナーに15名の参加者があり、3日間の講座を実施した。

8. 会議の開催状況について

第一回教務・職員会議（前期の出席状況および成績の報告）

第二回教務・職員会議（中期の出席状況および成績の報告）

第三回教務会議（卒業式賞決定）

第四回教務会議・第三回職員会議（卒業生決定）

第五回教務会議・第四回職員会議（進級者決定）

(森優也)

(2) 柔道整復学科

1. 研修・研究について

8月末の柔道整復学校協会教員研修は東京で開催され本校から18名の教員が参加した。柔道大会は8月中旬に東京にて開催され、選抜学生が参加した。

2. 授業および実習等について

6月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生およびアドバンスコース2・3年を対象に実施した。また、8月にアドバンスコース3年生を対象に、河村医院（整形外科）にて研修を実施した。5月から9月にかけて昼・夜間部2年生を対象に、みどりの風クリニックにて研修を実施した。6月にはアドバンスコース2年のアメリカ研修（オレゴン）実施した。

3. みどりの風クリニックに、教員1名をスタッフ助手として週2日派遣した。

4. 会議について

定例会議（毎月1回）

第一回教務・職員会議（前期の出席状況および成績の報告）

第二回教務・職員会議（中期の出席状況および成績の報告）

第三回教務・職員会議（卒業生決定）

第四回教務（卒業式賞決定）

第五回教務・職員会議（進級者決定）

5. 募集計画

アドバンスコースの募集対策として、一昨年より継続中の高等学校への出張体験授業や説明会実施した。さらに広報と連携し、10月以降も現役受験生が増加するよう取り組みを行い若干ではあるが効果が得られた。

6. 新規事業

テーピング技術や基礎的運動生理学等含で高校生を対象とした講習会を開催した。

7. その他

日本柔道整復師会においては、NGO支援無償資金協力の支援を受けて行っている海外に向けての日本伝統治療（柔道整復術）普及事業活動の支援を行った。

（吉川）

3. 森ノ宮医療学園専門学校への求人と就職状況について

本年度における本校に対する求人申込状況 736 件（前年度比 33%増）
（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

【求人状況】 (単位：件)

業種	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	備考
鍼灸院	42	35	23	
整骨院	238	183	144	
鍼灸整骨院	357	446	323	
病院	3	2	2	
診療所	53	57	47	
その他	49	13	14	派遣会社・福祉施設系法人など
合計	742	736	553	

新規求人件数	253	282	394	
延求人先件数	942	935	1,061	

求人総件数 742 件で、ほぼ前年度と同様となった。厚生労働省の労働力調査では、自営業主・家族従事者は 24 万人減の 742 万人であり、この二年間で 59 万人減となり、自営業者にとってはますます厳しい時代となった。そのことも後押しし、さらに業界の新規開業など治療所件数も頭打ち感がある。相変わらず新規開業するには環境的に困難な時でもあり、本校に対する新規求人も減少したが、新システム導入や従来からの求人先に対するサポートの向上に努め、求人総数は増加した。ただし、以下「労働環境をめぐる事象」でも挙げているが、「医療・福祉」の従事者は昨年同様増加しているの、雇用としては他業種とは傾向を異にしていることも背景にはあると思われる。

21 年度から求人データ更新の申請を 4 カ月としたが 22 年度においても影響は限定的で、常時 300 件以上の求人閲覧ができる状態を作ることがここ数年定着化してきている。ただし、その多くのところ求人倍率（約 5 倍）に見て取れるように学生・卒業生を十分に紹介できていない状態にあることは例年と変わりなく、相変わらず需要と供給のバランスがとれていないと思われる。

業種に関しては、鍼灸整骨院が全体の約半数以上を占めるに至っており、ますますいずれか一つの資格で経営していくことが困難な状況になっていることが例年同様うかがえる。

学生（在校生）への指導体勢としては、卒業後の将来像も見据えた上でじっくりと面談をし、1ヶ所だけではなく複数箇所の面接（見学）の後、決定するよう勧めている。面接時の基本的な注意事項も伝えており、大きなトラブル・クレームは発生していない。高校からの新卒者の割合も増えてきており、履歴書の書き方などごく一般的な社会常識を含め、全体としての就職指導・支援を 22 年度よりいっそう具体的に実施している。

【労働環境をめぐる事象】

労働力調査では、平成 22 年平均で就業者数が 25 万人減少（正勤扱い。参考：非正勤扱 34 万人増）する中で、「医療、福祉」の産業別では 32 万人増加し 653 万人となっており、改めて不況に強い業種であることを示している。

平成 21 年と比較し、完全失業者数は 334 人、完全失業率は過去最大の昨年と全く同じ 5.1% となった。

【本校に対する求人倍率】

一般職業紹介状況（職業安定業務統計）によると、平成 22 年平均で有効求人倍率は 0.52 倍となり、前年度の 0.45 倍を上回った。

本校の職業紹介利用者	本校の求人倍率	全国の求人倍率（参考）
135人	5.49倍	0.52倍

【初任給平均額】

《正社員》

	月給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	189,000	350,000	100,000	403
柔道整復師	200,000	350,000	100,000	489
学生	150,000	200,000	100,000	171

《アルバイト》

	時給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	1,001	1,450	800	174
柔道整復師	1,020	2,000	800	186
学生	855	1,200	770	319

平成22年賃金構造基本統計調査（初任給）によると、「医療・福祉」の産業別で19万2,700円（大卒）となっている。本校に対する正社員給与額は、鍼灸師・柔道整復師ともに最高35万円から最低10万円と、同じ有資格者でもあっても臨床経験の有無等によって大きく異なっている点については例年と変わらない。

相変わらず、売り手市場ではあるが、施術所一件当りの正社員の就業者の人数は減少傾向にある。さらに患者は分散している傾向が強くなっており、施術所においては利益を生み出すことが難しく、人件費を抑えるべくアルバイトの雇用が増加した。卒業生の初任給の減少、開業志向よりもサラリーマン志向がますます強まり、求人募集が資格取得者から無資格の学生を希望するケースが増えているなど、経営・採用・待遇など諸条件の変化は社会不況の環境下のみならず、柔整の療養費請求で大きな保険改正が行なわれたところで、業界の転換期となりつつある。

【学生動態】

優良な鍼灸整骨院を中心として国試終了後は他校との求人先のバッティングが起こることが多いが、優秀な卒業生を優先的に送り込むなどパイプの確保に努めた。

例年、卒業生が就職活動へと行動するピークとなる時期は国試後から卒業式後となるが、ここ数年はそれよりも遅く、就職に対してゆっくり行動している卒業生が多くなり、合わせて優良な求人先への就職が不利な条件となってしまうている。特に22年度は、例年11月に実施している「就職相談会」を1月に実施したこともあってか、就職活動の出足はかなり遅く感じた。

就職するまでに時間が掛かる学生の特徴としては、理想が高くなり、現実とのギャップを埋められずに悶々としている傾向にある。

その他、院長やスタッフ、患者ともコミュニケーションをとることが困難な者が増加している。前者については、時間をかけ指導することで理想と現実の差異を小さくしていくことで改善を目指すことはできるが、後者に関しては、個人の性格や、これまでの人生経験に起因しているケースもあり、改善は難しいと思われる。

また、卒業後数年経過している転職希望の卒業生数はこの一年でかなり増加してきている。

【就職関連セミナー】

『レセプト講習と柔道整復師を取り巻く業界事情』

3/19（土）参加人数2人

『クレーム対応術』

3/26（土）参加人数19人

『レセプト実務』

4/2 (土) 参加人数 25 人

【求人検索システム】 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

2010

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月間	累計アクセス数	13,629	15,532	11,562	13,638	10,135	8,115	
	累計訪問者数	939	873	881	933	835	601	
一日	アクセス数	平均	504	501	385	439	326	270
		最大	2,088	1,240	1,262	1,046	749	794
	訪問者数	平均	34	28	29	30	26	20
		最大	53	45	55	49	45	31

2011

10月	11月	12月	1月	2月	3月
10,108	14,791	10,533	20,091	15,887	16,317
671	649	681	786	825	999
326	493	339	648	567	526
929	2033	1,157	2,980	1,499	1,350
21	21	21	25	29	32
47	36	36	49	52	52

平成21年度より本校に対する求人情報を集約した求人検索システムを導入した。本システムは、在学中の治療院勤務経験の向上も含め学生に求人に接する機会を増やし、卒業生においては自宅（実家）でも容易に求職活動を可能とした。

利用状況は導入当初より好調で、卒業生からの評判も良い。また、求人先からの評価も高く、他校との比較優位性が少なくなってきた状況であったが、「求人先が多い森ノ宮」のイメージ創りに一役買っている。またこの求人検索のシステムはWEB上で募集申込を自動更新でき、給与額変更などの簡単な修正もできることが特徴である。

(川鍋 史一)

4. 森ノ宮医療学園専門学校奨学金について

【日本学生支援機構奨学金】

- 平成22年度中に本校在学生在に貸与された奨学金総額（入学時特別増額含む）
3億9,907万6,000円
- 奨学生数（全学年中）
357人
- 月額貸与額平均（併用貸与者含む）
9万1,745円

《奨学生数の推移》 (前年度比)

新規採用	期末満期（卒業等）	期中異動（退学等）	次年度継続希望
142人（3%増）	103人（29%増）	14人（27%増）	238人（6%増）

《新規採用者内訳》 (単位：人)

	予約採用	定期採用	追加採用	緊急応急	合計
一種	0	11	—	1	12
二種	28	45	55	2	130
合計	28	56	55	3	142

高校最終学年で進学先の奨学金貸与を認める予約採用割合を日本学生支援機構が増加させたことに伴い、予約採用者は前年度26名から28名と増加した。本校に割り当てられる推薦内示数（権利数）への影響は限定的で、前年度とほぼ同数となっている。現在の社会不況に対する申込数の増加は、平成21年度からある程度織り込み済みであったが、定期採用に漏れる学生が50名程と例年の3倍近くとなる。しかし、採用割合は平成21年度に引き続き100%となった点、当初は追加採用で全員救済されない場合の対策として応急採用を積極的に行っていた結果、資金面での理由を挙げて退学する者は抑制できた。そのように積極的に学費面でのサポートを行った結果、新規採用した奨学生は142名と21年度の過去最高数138名を更新することとなり6年連続100名/年超となった。

出身高等学校での予約採用者の増加は、今後も継続すると予測でき、返還延滞者の増加につながらないように引き続き在学中の指導強化に注力することが重要と思われる。

日本学生支援機構全体での近年奨学金の返還に係る延滞額及び延滞人数が増加し続けている。平成22年度末時点で延滞額が797億円を超え、延滞人数は約30万人に上っており、返還金の回収状況は、憂慮すべき状況になっている。機構では、この現状を厳粛に受け止め、督促の強化・学校への直接指導など対策を実行している。本校の結果は全国平均レベルだが、延滞率等の改善に向け、貸与終了者の返還意識を高めることを徹底して指導した。

【オリコ教育ローン】

《新規採用者内訳》 (単位：回) (単位：円)

	入金回数	入金総額
平成22年4月～平成23年3月	14	10,837,000

全体から見れば利用者は相変わらず少数ではあるが、需要は増えた。教育ローンの中でも、申込手続きが早く簡単で収入によるが連帯保証人を立てずに申し込みが可能な点、審査基準が比較的低いなどが特徴である。学費を延滞していたり、利息の高い消費者金融を利用している学生を借り換えさせるなど、有効に学業を継続させるサポートができています。平成23年度からは、海外研修参加費のように少額なものも扱えるようにした。

(川鍋 史一)

5. 実行事の報告

月	日	曜日	行 事
4月	3	土	東成区鍼灸師会
	5	月	入学式(ホテル大阪ベイタワー)、新入生オリエンテーション(～7日)
	8	木	前期授業開始
	10	土	古典研究会、定期清掃
	11	日	伝統鍼灸を学ぼう会、小児鍼灸勉強会、NSPA-CCS 講習会、大阪九鍼研究会
	13	火	日本育英会奨学金説明会(～14日)
	14	水	中医研、壺枢を読む会
	17	土	定期清掃
	18	日	東洋はり医学会関西支部、医鍼会、関西漢法菴徳塾
	21	水	古典研究会
5月	24	土	アロマ講座、森ノ宮柔道整復研究会、古典研究会、定期清掃
	25	日	ライフステージ、中華伝承医学会、国際中医美容研究会、医鍼会
	28	水	中医研、古典研究会、
	29	木	昭和の日、光栄
	30	金	創立記念日の代休
	3	月	憲法記念日
	4	火	みどりの日
	5	水	こどもの日
	8	土	こどもの健康サークル、NSPA-CSS 講習会、アロマ講座、古典研究会、定期清掃
	9	日	第1回オープンスクール、手技を考える会、ヒヨコ育成会、大阪九鍼研究会、小児鍼灸勉強会、伝統鍼灸を学ぼう会
6月	12	水	壺枢を読む会
	15	土	第3回森ノ宮柔道整復学術大会(～16日)
	16	日	医鍼会、関西漢法菴徳塾、日本臨床鍼灸懇談会
	18	火	第1回東洋療法学校協会教員研修会打合せ①
	19	水	壺枢を読む会
	20	木	中国伝統医学文化研究会
	21	金	第1回東洋療法学校協会教員研修会打合せ②
	22	土	アロマ講座、スポーツ医学研究会、古典研究会、定期清掃
	23	日	第1回入試(社・推・医)、アネックス校舎竣工式、大阪鍼灸師会、校友会代議員会、医鍼会、中華伝承医学
	26	水	壺枢を読む会
7月	27	木	はりきゅうミュージアム特別展(～9/24)
	28	金	監査会・理事会・評議員会
	29	土	鍼灸科1年体育実習(～30日)、アロマ講座、定期清掃
	30	日	運動器疾患柔道整復療法研究会、国際中医美容研究会、コアコンディショニング、新入生歓迎会
	2	水	壺枢を読む会
	5	土	アロマ講座、定期清掃
	6	日	第2回オープンスクール、第2回AO入試
	9	水	壺枢を読む会
	11	金	全日本鍼灸学会・大阪(～13日)
	12	土	アロマ講座、定期清掃
7月	13	金	伝統鍼灸を学ぼう会、手技を考える会、小児鍼灸勉強会、ヒヨコ育成会
	16	水	壺枢を読む会
	17	木	解剖実習(鍼灸科2年昼・夜)
	19	土	古典研究会、アロマ講座、スポーツ医学研究会、定期清掃
	20	日	第3回オープンスクール、第3回入試(AO・社・推・医)、アメリカ研修(柔整科2年アド～7/2日)、東洋はり医学会関西支部、医鍼会、中華伝承医学、関西漢方菴徳塾
	23	水	壺枢を読む会
	24	木	解剖実習(鍼灸科3年昼・夜)
	25	金	学内推薦入試説明会(～26日)
	26	土	古典研究会、日本刺絡学会、認定講習会(柔整科)、大阪府職業アセスメントプログラム、勉強会
	27	日	日本刺絡学会、医鍼会、国際中医美容研究会、認定講習会(柔整科)
1	木	解剖実習(柔整科3年 昼・夜)、学生会	
3	土	鍼灸科前期試験(～9日)、切手展(ミュージアム)	
4	日	日本臨床鍼灸懇談会	
8	木	解剖実習(柔整科2年 昼・夜)	
10	土	解剖実習(鍼灸科アド2年・3年)、切手展(ミュージアム)、古典研究会、定期清掃	

	11	日	第4回オープンスクール、第4回入試(A0・社・推・医)、国際中医美容研究会、ヒヨコ育成会、大阪刺絡講習会
	12	月	鍼灸科サマースクール(～16日)、柔整科前期試験(～17日)
	13	火	理事会
	14	水	霊枢を読む会
	15	木	伯鳳会
	17	土	認定講習会(柔整科)、定期清掃
	18	日	中華伝承医学、関西漢方苞徳塾、東洋はり医学会、医鍼会、認定講習会(柔整科)
	19	月	海の日、認定講習会(柔整科)
	20	火	学内推薦入試(～23日)、鍼灸科前期追試・補講(～30日)、経絡治療勉強会
	23	金	奨学金交付式
	24	土	解剖実習(柔整科アド2・3年)、切手展(ミュージアム)、古典研究会、アロマ講座、定期清掃
	25	金	第5回入試(社・推・医)、医鍼会、大阪府保険鍼灸マッサージ師会、手技を考える会、運動器疾患柔道整復学研究会、大阪府鍼灸師会
	26	月	柔整科前期追試験(～30日)
	27	火	経絡治療勉強会
	28	月	経絡治療勉強会
8月	31	土	切手展(ミュージアム)、こどもの健康サークル、森ノ宮柔道整復研究会
	1	日	運動器疾患柔道整復学研究会、中医学
	3	火	経絡治療勉強会
	4	水	霊枢を読む会
	5	木	東洋療法学校協会教員研修会(～6日)
	7	土	オリエン特出版夏季研修会(～9日)、切手展(ミュージアム)、柔整認定講習会、スポーツ医学研究会
	8	日	第5回オープンスクール、第6回入試(A0・社・推・医)、大師流関西小児はりの会、大阪刺絡講習会、柔整認定講習会、柔整卒業研究
	11	水	柔道整復学校協会柔道大会、古典研究会
	13	木	夏季休業(～16日)
	14	火	理事会
	18	水	第7回入試(ナイター)、中国臨床研修ツアー、古典研究会
	19	木	提案申請事前説明会
	21	土	定期清掃、切手展(ミュージアム)
	22	金	中華伝承医学会、医鍼会、国際中医美容研究会
	23	月	未修得単位試験(柔整科)(～25日)
	24	火	大阪府教員対象セミナー(～26日)、大阪商工会議所セミナー
	25	水	霊枢を読む会
	28	土	柔道整復学校協会教員研修会(東京)、定期清掃、古典研究会、切手展(ミュージアム)
	29	日	第6回オープンスクール、第8回入試(A0・指定校・社・推・医)、北辰会、セイリン美容鍼灸
	30	月	中期授業開始
9月	1	水	霊枢を読む会
	4	土	柔整認定講習会、定期清掃
	5	日	柔整認定講習会、手技を考える会、大阪府鍼灸師会、NSPA-CCS講習会
	6	月	未修得単位試験(鍼灸)(～17日)
	7	火	中本女性会
	8	水	霊枢を読む会、経絡クラブ
	11	土	ミュージアム(切手展)、古典研究会、アロマ講習会、定期清掃
	12	日	第1回模擬試験(柔整3年)、大阪刺絡講習会
	15	水	第9回入試(ナイター)、霊枢を読む会、経絡クラブ
	18	土	日鍼会講習会、アロマ講習会、ミュージアム(切手展)、スポーツ医学研究会、定期清掃
	19	日	関西漢方苞徳塾、東洋はり医学会、日鍼会講習会、医鍼会
	20	月	敬老の日、日鍼会講習会、第7回オープンスクール、第10回入試(A0・社・推・医)
	22	水	霊枢を読む会、経絡クラブ、自衛消防訓練(夜間部1,2年、教職員)
	23	木	秋分の日
	25	土	古典研究会、アロマ講習会、森ノ宮柔道整復研究会、地域交流会
	26	日	中華伝承医学、医鍼会、国際中医美容研究会、大阪府鍼灸師会、ジャイロ講習会、日本臨床鍼灸懇話会
	27	月	前期基礎試験(鍼灸科)、日本学生支援機構奨学金追加採用者説明会
	29	水	経絡クラブ
10月	2	土	スポーツ医学研究会、ナイターミニオープンキャンパス、アロマ講習会、柔整認定講習会
	3	日	手技を考える会、柔整認定講習会
	4	月	袴展示会(～8日)
	6	水	経絡クラブ
	7	木	東洋療法学校協会学術大会(東京)
	9	土	定期清掃、古典研究会、アロマ講習会

平成22年度 事業報告書

	10	日	第8回オープンキャンパス、第11回入試(A0・高・社・推・医・指)、アロマ講座、伝統鍼灸を学ぼう会
	11	月	体育の日
	13	水	第12回入試(ナイター)、経絡クラブ、壺枢を読む会
	16	土	定期清掃、森ノ宮柔道整復研究会、アロマ講習会
	17	日	実践臨床講習会、いろは体操講習会、関西漢方菴徳塾、東洋はり医学会、中華伝承医学会、医鍼会
	19	火	理事会
	20	水	経絡クラブ、壺枢を読む会
	23	土	定期清掃、柔整認定講習会、古典研究会、アロマ講習会
	24	日	第13回入試(高・社・推・医)、日本臨床鍼灸懇話会、大阪府鍼灸師会、医鍼会、中華伝承医学会
	27	水	経絡クラブ、壺枢を読む会
	28	木	中国伝統医学文化研究会
	29	金	第1回模擬試験(鍼灸科3年)
11月	31	日	実技卒業試験(柔整科3年)
	2	火	文化祭準備
	3	水	文化の日、文化祭、クリーン大阪
	6	土	定期清掃、アロマ講習会、森ノ宮柔道整復研究会、スポーツ医学研究会
	7	日	第9回オープンキャンパス、第14回入試(A0・高・社・推・医・卒・在)、大阪府鍼灸師会
	10	水	経絡クラブ
	13	土	定期清掃、NSPA-CCS講習会、柔整認定講習会、古典研究会
	14	日	柔整科3年認定実技試験(財団)
	15	月	鍼灸科1・2年中期試験(～19日)
	16	火	理事会・評議員会
	17	水	経絡クラブ
	20	土	定期清掃
	21	日	鍼灸3年第1回卒業試験、中華伝承医学、関西漢方菴徳塾、医鍼会、日本学生支援機構奨学金返還説明会(鍼灸)
	22	土	オータムスクール(～26日)
	23	日	第15回入試(高・社・推・医・卒・在) 勤労感謝の日、森ノ宮手技療法研究会
	24	水	壺枢を読む会、経絡クラブ
	27	土	日本臨床鍼灸懇話会、古典研究会
	28	日	中華伝承医学、医鍼会、日本臨床鍼灸懇話会、手技を考える会、ライフステージ
	29	月	鍼灸科後期授業開始、鍼灸科中期追試験(～12月10日)、柔整1・2年中期試験(～12月4日)
12月	1	水	壺枢を読む会、経絡クラブ
	4	土	定期清掃、アロマ修了試験
	5	日	第10回オープンキャンパス、第16回A0入試、実践臨床講習会、鍼灸保険協会大阪、光栄
	6	月	柔整科後期授業開始
	8	水	壺枢を読む会、経絡クラブ
	11	土	古典研究会、こどもの健康サークル、森ノ宮柔道整復研究会、定期清掃
	12	日	第17回入試(高・社・推・医・卒・在) 柔整科3年第2回模擬試験
	15	水	第18回ナイター入試、壺枢を読む会、経絡クラブ
	18	土	定期清掃
	19	日	中華伝承医学、東洋はり医学会、関西漢方菴徳塾、日本臨床鍼灸懇話会
	21	火	柔整1.2年中期追試験・補講、柔整3年前期末修得単位試験
	22	水	壺枢を読む会
	23	木	天皇誕生日、スポーツ医学研究会
	24	金	鍼灸科補講
	25	土	古典研究会、医鍼会、手技を考える会
	27	月	スポーツトレーナー特別講演
	29	水	冬期休暇(～1/3まで)
1月	1	土	元旦
	4	火	新年会
	6	木	鍼灸科3年第2回模擬試験
	7	金	鍼灸科1.2年授業開始、柔整授業開始
	8	土	日本陸連トレーナー一部研修会、森ノ宮柔道整復研究会、古典研究会
	9	日	小児鍼灸勉強会、大坂刺絡講習会、谷先生講習会
	10	月	成人の日、奨学金返還説明会
			柔整3年卒業試験
	11	火	壺枢を読む会
	15	土	定期清掃
	16	日	第11回オープンキャンパス、第19回(A0・高・社・推・医・卒・在)、就職相談会、関西漢方菴徳塾、東洋はり医学会、医鍼会
	19	水	壺枢を読む会

平成22年度 事業報告書

	22	土	スポーツトレーナー講座、定期清掃、スポーツ医学研究会、古典研究会
	23	日	美顔鍼会、日本鍼灸懇話会、医鍼会、中華伝承医学会
	26	月	霊枢を読む会
	29	木	スポーツトレーナー講座、定期清掃
	30	日	森ノ宮手技療法研究会、国際中医美容研究会、日本鍼灸師会、 フィットネスパソコン講座
2月	5	土	アロマ講座、スポーツ医学研究会
	6	日	第20回入試(高・社・推・医・卒・在)、鍼灸科3年第2回卒業試験、 柔整科3年第3回模擬試験
	8	水	霊枢を読む会
	11	金	建国記念の日
	12	土	古典研究会、こどもの健康サークル
	13	日	第12回オープンキャンパス、第21回A0入試、伝統鍼灸を学ぼう会、小児鍼灸勉強会、アロマ修了試験
	14	月	鍼灸科補講(～25日)
	19	土	定期清掃、森ノ宮柔道整復研究会、開業支援講座
	20	日	関西漢方苞徳塾、東洋はり医学会、医鍼会、森ノ宮手技療法研究会、 日本臨床鍼灸懇話会、フィットネスパソコン講座
	21	月	鍼灸1.2年後期試験(～25日)
	22	火	セキュリティ対策会議
	27	日	第24回入試(高・社・推・医・在・卒)、はり師・きゅう師国家試験、鍼灸国家試験、古典研究会、医鍼会 中華伝承医学会、日本鍼灸師会
3月	28	月	柔整科後期試験(～3月4日)
	1	火	創立記念日、セキュリティ対策会議
	5	土	第23回A0入試、第13回オープンキャンパス
	6	日	柔整国家試験
	7	月	鍼灸科後期追試験(～11日)、柔整科3年補講(～9日)、 運動器疾患柔道整復学研究会、日本臨床鍼灸懇話会、フィットネスパソコン講座
	12	土	古典研究会、森ノ宮柔道整復研修会
	13	日	卒業式(ホテル大阪ベイタワー)、伝統鍼灸を学ぼう会、小児鍼灸勉強会、 日本鍼灸師会
	14	月	柔整科1・2年後期追試験・補講(～18日)
	16	水	霊枢を読む会、スポーツトレーナー講座
	19	土	卒後研修ワールド情報システム、開業支援講座、スポーツ医学研究会
	22	火	スポーツトレーナー講座
	23	水	霊枢を読む会
	26	土	霊枢を読む会、古典研究会
	27	日	医鍼会、国際中医美容研究会、中華伝承医学会、美顔鍼会
	28	土	はり師・きゅう師国家試験 合格発表、柔道整復師国家試験 合格発表、 スポーツトレーナー講座
	29	火	理事会・評議員会

6. 専門学校入学試験の受験者数（平成23年度入学向けの入試）

平成二三年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	AO入試												学内推薦			特別入試
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	(在)①	(卒)①	(在)②	
鍼灸	午前	30	0	0	0	6	4	5	2	8	3	1	3	4	0	0	0	0	0
	医	30	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	鍼昼	60	4	0	1	4	2	4	0	1	3	4	1	3	3	3	0	0	0
	鍼夜	60	1	1	0	2	1	1	5	1	2	10	3	3	0	1	0	0	1
	柔道整復	柔ア	30	4	3	0	6	4	4	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0
	柔昼	60	4	0	3	7	4	4	1	5	4	1	2	0	10	1	0	1	0
	柔夜	60	0	1	6	3	4	4	3	4	3	1	2	4	3	1	3	0	0
合計		330	13	5	11	28	19	22	11	20	15	18	13	17	16	11	3	1	1

平成二三年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	高校生									ナイター				指定校		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	①	②	③
鍼灸	午前	30	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	医	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鍼昼	60	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	鍼夜	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	柔昼	60	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	柔夜	60	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
合計		330	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2	1	1	0	0	12

平成二三年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	社会人																
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
鍼灸	午前	30	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	3	4	3	0	1	
	医	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鍼昼	60	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1	2	1	0	
	鍼夜	60	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	2	0	
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	柔昼	60	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	3	1	2	1	0	0	
	柔夜	60	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	4	3	0	
合計		330	1	1	1	1	0	3	0	1	2	0	5	6	9	10	11	6	1	

平成二三年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	推薦①	推薦②	推薦③	推薦④	推薦⑤	推薦⑥	推薦⑦	推薦⑧	推薦⑨	推薦⑩	推薦⑪	推薦⑫	推薦⑬	推薦⑭	推薦⑮	推薦⑯	推薦⑰
				鍼灸	午前	30	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0
医	30	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼	60	0	0		0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	柔昼	60	1	1	2	0	0	0	1	1	0	1	2	3	4	1	0	0	0	0
	柔夜	60	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
合計			330	3	1	2	1	1	0	4	1	3	1	5	5	6	2	1	2	1

平成二三年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	医療人①	医療人②	医療人③	医療人④	医療人⑤	医療人⑥	医療人⑦	医療人⑧	医療人⑨	医療人⑩	医療人⑪	医療人⑫	医療人⑬	医療人⑭	医療人⑮	医療人⑯	医療人⑰
				鍼灸	午前	30	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医	30	0	1		0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
鍼夜	60	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	2	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0
	柔夜	60	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
合計			330	0	1	0	1	3	2	0	1	1	2	3	2	3	0	3	3	0

平成二三年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	卒業生・在校生①	卒業生・在校生②	卒業生・在校生③	卒業生・在校生④	卒業生・在校生⑤	卒業生・在校生⑥	卒業生・在校生⑦
				鍼灸	午前	30	0	0	0	0
医	30	0	0		0	0	0	0	0	0
鍼昼	60	0	0		0	0	0	0	0	0
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔夜	60	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			330	0	0	0	0	0	0	0

合計	倍率
64	2.133
13	0.433
53	0.883
53	0.883
30	1.000
87	1.450
68	1.133
368	1.115

7. 専門学校の在籍学生数と学生動向

(単位:名)

平成23年 4月1日現在		1年			2年			3年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)									
鍼灸学科	昼	108	2	1	86	0	0	100	5	0	294	7	1
	夜	50	2	0	49	4	0	59	8	0	158	14	0
柔道整復学 科	昼	97	5	1	82	7	0	80	10	2	259	22	3
	夜	59	1	1	58	1	1	70	15	1	187	17	3
合計		314	10	3	275	12	1	309	38	3	898	60	7

* 留年および休学は在籍者数の内数

(田畑 京美)

8. 専門学校の施設設備について

専門学校の施設は、本校舎(地下1階、地上7階建一部6階)、アネックス校舎平屋(管轄は大学)と4階建、緑橋校舎3階建となっている。平成22年度は本校舎の一部壁紙改装工事と庭園の柵設置を実施した。

設備面では本校舎の地下は駐車場専用、1階と3階から6階は教室と実技室を配置し、各室にマイク、プロジェクターを設置して教育環境を整えている。また3階には図書室と鍼灸に関するミュージアム施設を設置し、同階の学生ホールを拡大して自由時間の勉強や団欒場所に利用している。7階の講堂は主に学生のクラブ活動に利用されている。学園では車通学は禁止しているので、学生支援対策として自転車・単車の通学生のための駐輪場をアネックス校舎の1階に設けている。同2階は柔道場、同4階は教室または多目的ホールとして液晶モニターを6台設置している。平屋の校舎は実技室を設けている。緑橋校舎は地域医療としての機能を果たすため、1階は内科、整形外科を中心とした診察室、X線検査およびMR検査施設、2階は日常生活回復機能訓練設備を導入したリハビリテーション室、3階は教室と施術所があり一般患者の受け入れと学生の実習施設としての機能を果たしている。

各校舎は環境衛生の向上を図るため、日常清掃(教室、廊下、机、いす、黒板等備品の清潔および破損状況の確認、ゴミ容器の回収・清掃、便所施設の清潔保持、故障点検、排水溝施設清掃点検)・毎月定期清掃の実施、空調機設備の定期点検清掃、エレベータの定期点検、自動ドアの定期点検、消防設備の定期点検、電力関係の定期点検、水道水の水質定期検査、ねずみ等の害虫定期駆除を実施している。これらは一部を除いて業者に委託管理をしている。また施設の防犯対策は各校舎に防犯カメラをすべて導入した。夜間警備については機械警備を業者に委託している。

バリアフリー対策は各校舎にエレベータ設置、障がい者用トイレの設置を整えている。感染症対策として、各階に消毒液を設置し職員、学生ならびに来校者への啓蒙を図っている。

その他、例年どおり消防計画を作成し火災、地震等の災害予防と人命の安全、被害の軽減を図るため自衛消防訓練を実施し、学生含めて防火管理の啓蒙を図っている。緑化計画として本校舎とアネックス校舎では植樹ならびにベンチを設置して景観と寛げる場所を提供している。健康対策として、学校医による職員・学生の定期健康診断と特定健康診査を実施し、保健指導を進めている。受動喫煙対策として啓蒙を図るとともに室外に喫煙所を設けている。校舎の地域開放は土曜日に柔道場を地域の森ノ宮少年柔道教室に開放している。休日には地域町会に一部教室開放し、学園祭当日は地域住民に校舎開放を図っている。

平成22年度は地域共存を図る一つとして年1回学生とともにJR森ノ宮駅と地下鉄緑橋駅からの通学路と学園近辺の清掃を実施したが、新たに地域共助を図る目的で東成区中本連合振興町会と「災害初期時の医療救護活動の連携」の準備会に東成区医師会とともに校舎利用を含めた検討会議を継続推進し実施している。

(古谷 壽宏)

Ⅲ. 森ノ宮医療大学

1. 全体的な事項

【文科省履行状況調査について】

平成 21 年度までに付されている文部科学省および大学設置法人審議会から指摘されている留意事項は次の通りである。

設 置 時	大学設置分科会 ○設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画書を確実に履行すること。また、開設時から 4 年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。 ○開設時には視覚障害者の入学を考慮し、点字図書、録音図書などの教材を整備すること。（鍼灸学科）
19 年 度	大学設置分科会 ○FD 委員会を計画通り開催するとともに、授業評価アンケートの組織的な実施、その結果の効果的なフィードバックを含め、ファカルディ・ディベロップメント（授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究）の一層の推進に努めること。 ○森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科の入学定員超過の是正に努めること。 法人分科会 ○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。 ○定員超過の是正に努めること（理学療法学科）
20 年 度	法人分科会 ○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。
21 年 度	法人分科会 ○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。

留意事項については真摯に対応し、平成 20 年度以降は大学設置分科会から特に留意事項は付されておらず、平成 22 年度も同様であった。

【自己点検・評価・FD 活動について】

21 年度から効率よく活動できるよう自己点検・評価委員会と FD 委員会を統合したが、委員会開催は 4 回、FD セミナーは 4 回と活発とは言い難い。活動が減少した背景には、新学科等設置業務、大学教育・学生支援推進事業業務に人員が想定以上に必要であったことが考えられる。

なお、22 年度も授業アンケートの集計結果を全教員にフィードバックし、集計結果の所見（リフレクションペーパー）を学長あてに提出いただいた。また集計結果を学内に掲示し学生等へ公表した。

（在川 洋平）

2. 学生及び教育の事項について

【在校生数の推移】

平成23年4月

現員	1年			2年			3年			4年			合計		
	在籍	留年	休学												
鍼灸	59	1	1	50	4	0	57	0	0	69	2	0	235	7	1
理学	69	1	0	68	2	1	70	8	0	63	3	0	270	14	1
看護	88	0	0										88	0	0
全体	216	2	1	118	6	1	127	8	0	132	5	0	593	21	2

大学・年度別退学及び除籍者数

	H19年度			H20年度			H21年度			H22年度		
	退学数	在学数	退学率									
鍼灸	3	75	4.0%	10	136	7.4%	7	190	3.7%	7	236	3.0%
理学	3	78	3.8%	5	143	3.5%	10	206	4.9%	10	264	3.8%
全体	6	153	3.9%	15	279	5.4%	17	396	4.3%	17	500	3.4%

退学及び除籍理由（22年度）

学科	年次	理由	学科	年次	理由
鍼灸	1	家庭の都合	理学	1	進路変更
鍼灸	1	経済上・その他（修学意欲の低下）	理学	1	その他（思っていた学生生活との相違）
鍼灸	1	森ノ宮医療学園専門学校に入学	理学	2	進路変更
鍼灸	1	経済的	理学	2	就職希望・経済的理由
鍼灸	2	その他（修学意欲の低下）	理学	2	進路変更による就職 理学への興味が継続しなくなった
鍼灸	2	経済上・一身上の都合	理学	2	進路変更による就職（飲食店）
鍼灸	2	その他	理学	3	家庭の都合（一身上の都合）
			理学	3	進路変更（他の専門学校）
			理学	3	進路変更
			理学	3	進路変更による就職（介護）

（渡辺 鮎子）

3. 森ノ宮医療大学入学試験 関係について

【平成23年度入学試験受験者数】

H23年度入学試験 鍼灸学科		第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志望 計	受験数				合格	辞 退	入 学
							第1	第2	第3	計			
AO①	8/22	11	(11)	1	-	12	11	1	-	12	11	1	10
AO②	9/12	8	(7)	1	-	9	8	1	-	9	8		8
AO③	10/3	2	(1)	0	0	2	2	0	0	2	1		1
指定校	10/14	4	(4)	0	0	4	4	0	0	4	4		4
推薦①	10/31	7	(7)	6	3	16	7	6	3	16	15	6	9
社会人①	10/31	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特待生	10/31	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0		0
推薦②	11/23	2	(1)	3	2	7	2	3	2	7	6	3	3
推薦③	12/11	2	(0)	7	1	10	2	7	1	10	9	4	5
一般①	1/30	4	(3)	5	2	11	4	5	2	11	9	4	5
一般②	2/20	1	(1)	13	5	19	1	12	5	18	16	8	8
社会人②	2/20	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0		0
一般③	3/12	3	(3)	8	3	14	3	6	2	11	10	6	4
計		44	(38)	44	16	104	44	41	15	100	89	32	57

H23年度入学試験 理学療法学科		第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志望 計	受験数				合格	辞 退	入 学
							第1	第2	第3	計			
AO①	8/22	52	(52)	0	-	52	52	0	-	52	12		12
AO②	9/12	33	(15)	0	-	33	32	0	-	32	8		8
AO③	10/3	35	(14)	0	0	35	35	0	0	35	1		1
指定校	10/14	3	(2)	0	0	3	3	0	0	3	3		3
推薦①	10/31	93	(66)	4	0	97	92	4	0	96	17	3	14
社会人①	10/31	1	(1)	0	0	1	1	0	0	1	1		1
特待生	10/31	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0		0
推薦②	11/23	58	(14)	4	1	63	57	4	1	62	13	1	12
推薦③	12/11	33	(11)	3	1	37	32	3	1	36	5	1	4
一般①	1/30	43	(27)	5	0	48	42	5	0	47	7	2	5
一般②	2/20	23	(8)	12	4	39	23	11	4	38	1		1
社会人②	2/20	2	(2)	0	0	2	2	0	0	2	2		2
一般③	3/12	14	(4)	4	1	19	13	3	1	17	6	1	5
計		390	(216)	32	7	429	384	30	7	421	76	8	68

H23年度入学試験 看護学科		第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志望 計	受験数				合格	辞 退	入 学
							第1	第2	第3	計			
AO	10/3	44	(44)	0	0	44	44	0	0	44	10		10
推薦①	10/31	53	(34)	0	0	53	52	0	0	52	30	4	26
社会人①	10/31	2	(1)	0	0	2	2	0	0	2	1		1
特待生	10/31	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0		0
推薦②	11/23	52	(37)	0	0	52	52	0	0	52	15	1	14
推薦③	12/11	52	(28)	1	1	54	49	1	1	51	13	2	11
一般①	1/30	88	(69)	2	0	90	86	2	0	88	27	5	22
一般②	2/20	95	(65)	2	0	97	90	2	0	92	4	2	2
社会人②	2/20	8	(6)	0	0	8	7	0	0	7	0		0
一般③	3/12	56	(19)	0	0	56	53	0	0	53	2		2
計		450	(303)	5	1	456	435	5	1	441	102	14	88

資料請求者数の推移

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
資料請求延べ人数	2786	3541	3432	3528	6216
資料請求(実数)	2433	3140	3100	3267	5860
OC参加延べ人数	468	729	570	534	1171
OC参加(実数)	416	571	476	382	625
志願者延べ数(複数志望カウント)	1089	894	530	368	989
志願者延べ数(第1志望カウント)	963	819	488	338	884
志願者(実数)	520	407	289	213	557
編入学入試			1	1	

【平成23年度大学院入学試験受験者数】

H23年度入学試験 大学院		志願者数	受験者数	合格	辞退	入学
第一次	12/21	3	3	3		3
第二次	2/10	1	1	1		1
第三次	3/9	1	1	1		1

(渡辺 鮎子)

4. 保健医療学部 鍼灸学科の事項について

(1) 学科構成

- 1) 平成21年度末に日比野佐和子准教授および中村昌弘講師が退職し、平成22年度後期より鍋田智之講師が加わった。また、年度途中(平成22年12月)に重永凱男教授が逝去された。結果的に22年度末における専任教員は、教授6名、准教授3名、講師6名、助教5名、助手1名であった。
- 2) 研究員等については、研究員が1名追加され、客員教授1名、客員講師1名、客員研究員3名、研究員8名となった。
- 3) 鍼灸臨床系授業を中心として鍼灸師のティーチング・アシスタント(TA)6名をパート雇用了。

(2) 行事(鍼灸学科のみに関連するもの)

- 6月11～13日 全日本鍼灸学会大阪大会(運営に全学科教員が協力、学生発表も実施)
- 8月28・29日 第17回鍼灸の研究と教育に関する研究会
主幹校(大阪医療技術学園専門学校と共同)
- 2月27日 はり師・きゅう師国家試験(桃山学院大学)

(3) 教育

- 1) カリキュラムおよびシラバスにもとづいて講義、演習、および実習を行った。
- 2) 正規の授業に加えて、1年生の解剖学および経穴学、3年生の国試対策に関する授業、および4年生の鍼灸医学演習に関する補講を実施した。
- 3) 正規の授業および補講に加えて、さらに国試対策が不十分な学生に対して一部の教員とTAによる課外個別指導を行った。
- 4) 国試対策の一環として模擬試験を実施した。
- 5) 担任教員は、1・2年生を松熊・涌田、3年生を鍋田・ゼミ教員、4年生を山下・小島・ゼミ教員が担当した。
- 6) 卒業研究の中間報告および最終報告会を開催し、卒業論文を提出させた。また、卒業研究論文抄録集を発行した。
- 7) はり師・きゅう師国家試験の結果、受験者50名のうち合格者は46名であり、合格率は92%であった。

(4) 研究

- 1) 学科専任教員による研究業績は、査読付き学術論文15編(うち英語4編)、査読なし学術論文12編(うち英語1編)、著書5編(うち英語0編)、専門分野における解説・記事18編(うち英語0編)、一般向け解説・記事0編、学会発表48題(うち英語4題)であった。
- 2) 外部研究費獲得は、研究代表者として、日本学術振興会科学研究費補助金2件(山下、松熊)、兵庫県柔道整復師会研究助成金1件(川畑)、全日本鍼灸学会海外発表助成1件(増山)であった。研究分担者としては、日本学術振興会科学研究費補助金2件(川畑、中原)、全日本鍼灸学会研究助成2件(山下、増山)であった。また、研究協力者として厚生労働省科学研究費補助金3件(山下)であった。

(5) 社会貢献、国際交流

- 1) 研修会・講習会における発表・講演実績は21題であった。
- 2) 平成22年度大阪府教職員自主研修支援オープン講座で腰痛をテーマに理学療法学科とともに講師を務めた。
- 3) 大阪市計画調整局都市計画課およびロボットラボラトリーとのロボットプログラムの開発に協力した(永瀬)。
- 4) 鍼灸医療推進研修会テキスト作成に協力した(坂本)。

- 5) 府民開放イベント(大阪府庁咲洲庁舎)「咲洲地区活性化協議会、大阪府、大阪市主催)において健康運動プログラムを理学療法学科およびミズノ(株)と共同開催した(中原)。
- 6) 11月12日、韓国のキョンヒ大学韓医学部のチョ・ギホー教授と学生2名が本学およびはりきゅうミュージアムを訪問し、教育や研究の現状について情報交換した(山下、鍋田、増山)。

(6)その他

- 1) 鍼灸学科会議開催を13回開催し、学科内の教育・研究・運営に関して議論し方針決定を行うとともに情報共有を図った。
- 2) 学科教員で分担して指定校推薦対象校などへの高校訪問や出張講義を行い、大学認知度の促進と優秀な入学生の確保に努めた。
- 3) 大阪府立視覚支援学校より鍼灸教育研修目的で派遣された理療科教諭1名を受け入れて授業、研究および鍼灸臨床の指導を行った。
- 4) 実習授業中に現金の盗難が発生したため、所有物の管理を徹底するよう注意喚起した。
- 5) 2年生が自宅で死亡した。学科として哀悼の意を示すとともに、担任教員を地元の通夜および告別式に派遣した。

(山下 仁)

5. 保健医療学部 理学療法学科の事項について

(1) 学科構成

- 1) 平成23年3月、助手として丸尾佳奈氏が採用され、主に学科事務を担当している。平成22年度末の専任教員は、教授7名、准教授4名、講師2名、助教2名、助手3名。
- 2) 研究員等については、客員教授が1名追加され、客員教授10名となる。

(2) 行事(理学療法学科のみに関連するもの)

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 5月15日 | 近畿理学療法養成校会議(国家試験の対策事業) |
| 5月27～29日 | 日本理学療法士学会(岐阜県:座長2名、発表2演題) |
| 6月26・27日 | 日本医学写真学会(森ノ宮医療大学:特別講演、座長、演題発表) |
| 9月4日 | 大阪呼吸ケア研究会講習会(森ノ宮医療大学:講演、技術指導) |
| 2月19日 | 実習担当者会議(森ノ宮医療大学) |
| 2月27日 | 理学療法士国家試験(近畿大学) |

(3) 教育

- 1) 講義、演習、および実習について計画通りに行われていたか調整した。
- 2) 成績不良者について、定期試験後補講を十分に行い、理解を深める努力をした。
- 3) 国試対策として、国家試験の分析と模擬試験を実施し学生の学力分析を行った。
- 4) 国試対策として、3年生4年生を対象として、業者模擬試験を実施した。
- 5) 卒業研究について、最終報告をまとめ、卒業研究論文抄録集を作製した。
- 6) 理学療法士国家試験の結果、受験者52名、合格者34名、合格率は65%であった。

(4) 研究

別途「6. 学術研究の事項について」において報告する。

(5) 社会貢献・国際交流

- 1) 研修会・講習会への講師派遣18件あった。
- 2) 病院・施設の職員指導(近畿大学医学部附属病院、北野病院、東大阪病院、上山病院他)を行った。
- 3) 平成22年度大阪府教職員自主研修支援オープン講座「腰痛をテーマ」を鍼灸学科と共催した。
- 4) 平成22年度の大阪市保健所事業、医師会事業、患者会の参画し運営に協力した。
- 5) 大阪市計画調整局都市計画課およびロボットラボラトリーとのロボットプログラムの開発に協力した。
- 6) 府民開放イベント(大阪府庁咲洲庁舎)(咲洲地区活性化協議会、大阪府、大阪市主催)において健康運動プログラムを鍼灸学科と開催した。
- 7) 移乗移動に伴う福祉用具と介助研究会
- 8) 安全な患者介助と移動学会(アメリカフロリダ州)と情報交換

(6) その他

- 1) 学科会議と実習調整会議を毎週実施し、学科内の運営方針の決定を行った。
- 2) 実習地での問題のあった学生の保護者への対応を行った。

(金尾 顕郎)

6. 学術研究の事項について

1. 平成 22 年度の研究費執行状況

(平成 22 年度予算額：2817 万円)

(1) 個人研究費：教員全体で 1121 万円配分

(未執行額(繰越額) 583 万円)

(2) 購入研究機器・備品 (単位：万円)

①水治療用大型浴槽 アクアサイザー	1,617
②筋電図	210
③同期装置	100
④サーモグラフィ	400
⑤設置型リフト	144
⑥信号発生器	25
⑦プレートリーダー	30
⑧遠心機ローター	13
(3) 設備 maintenance	55
(4) 動物施設運営費	58

(2) ~ (4) 計 2,653 万円

2. 平成 22 年度研究業績

(1) 外部研究費獲得

1. 山下仁(研究代表者). 平成 22 年度 科学研究費補助金. 基盤 C 音楽家鍼灸の確立可能性—質問調査およびランダム化比較試験によるエビデンスの検討— 140 万円
2. 松熊秀明(研究代表者)・青木元邦(研究分担者)・川畑浩久(研究分担者). 平成 22 年度 科学研究費補助金. 基盤 C 鍼灸刺激の転写因子 $\text{NF-}\kappa\text{B}$ を介する局所炎症・免疫機転への分子メカニズムの解明. 247 万円
3. 宮本忠吉(研究代表者)・中原英博(研究分担者). 平成 22 年度 科学研究費補助金. 基盤 C 運動時の呼吸循環系を制御する高次脳機能メカニズムの統合的理解—予測・見込み的制御の運動生理学的意義— 320 万円
4. 青木元邦(研究代表者). 平成 22 年度 大阪難病研究財団 骨代謝における RA 系の関与の解明：高血圧治療新概念の確立 100 万円
5. 宮本忠吉(研究代表者). 平成 23 年度ヤマハ発動機スポーツ振興財団 YMFS スポーツチャレンジ研究助成 運動と中心循環の相互因子が呼吸化学調節系の動的フィードバック制御機能に及ぼす影響 90 万円
6. 川畑浩久(研究代表者). 平成 22 年度 兵庫県柔道整復師会研究助成金 20 万円.
7. 増山祥子(研究代表者). 世界鍼灸学会連合 2010 年鍼灸国際シンポジウム(サンフランシスコ)研究発表渡航補助金 20 万円.
8. 山下仁(分担研究者). 平成 22 年度 全日本鍼灸学会研究部公募研究助成. 医学雑誌に掲載された鍼灸安全性関連論文のデータベース化と情報発信 10 万円.
9. 増山祥子(分担研究者). 平成 22 年度 全日本鍼灸学会研究部公募研究助成. 医学雑誌に掲載された鍼灸安全性関連論文のデータベース化と情報発信 10 万円.
10. 青木元邦(共同研究者). 平成 22 年度 地域新生コンソーシアム研究開発事業補完研究新規核酸医薬 SMAP デコイの医薬品原体としての開発
11. 山下仁(研究協力者). 平成 22 年度 厚生労働省科学研究費補助金. ISO/TC249 に資するための伝統医学関連の用語・疾病分類・デバイス・安全性確保などの基盤整備研究
12. 山下仁(研究協力者). 平成 22 年度 厚生労働省科学研究費補助金. 東アジア伝統医学の有効性・安全性・経済性のシステムティック・レビュー
13. 山下仁(研究協力者). 平成 22 年度 厚生労働省科学研究費補助金. 統合医療を推進するための日本伝統医学の標準化

(2) 査読付き学術論文(英文)

1. Fujimoto M, Nakano M, Terabe F, Kawahata H, Ohkawara T, Han Y, Ripley B, Serada S, Nishikawa T, Kimura A, Nomura S, Kishimoto T, Naka T. The

- Influence of Excessive IL-6 Production In Vivo on the Development and Function of Foxp3+ Regulatory T Cells. *J Immunol.* 2011; 186: 32-40.
2. Terabe F, Fujimoto M, Serada S, Shinzaki S, Iijima H, Tsujii M, Hayashi N, Nomura S, Kawahata H, Myoung Ho Jang, Miyasaka M, Mihara M, Ohsugi Y, Kishimoto T, Naka T. Comparative analysis of the effects of anti-IL-6 receptor mAb and anti-TNF mAb treatment on CD4+ T cell responses in murine colitis. *Inflammatory Bowel Disease.* 2011; 17: 491-502.
 3. Miyake T, Aoki M, Osako MK, Shimamura M, Nakagami H, Morishita R. Systemic Administration of Ribbon-type Decoy Oligodeoxynucleotide Against Nuclear Factor κ B and Ets Prevents Abdominal Aortic Aneurysm in Rat Model. *Mol Ther. Mol Ther.* 2011 Jan;19(1):181-7.
 4. Morishita R, Makino H, Aoki M, Hashiya N, Yamasaki K, Azuma J, Taniyama Y, Sawa Y, Kaneda Y, Ogihara T. Phase I/IIa Clinical Trial of Therapeutic Angiogenesis Using Hepatocyte Growth Factor Gene Transfer to Treat Critical Limb Ischemia. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2011 Mar;31(3):713-20.
 5. Wataru Fujitani, Yoshinosuke Hamada, Naomasa Kawaguchi, Seiji Mori, Kiyoshi Daito, Ayako Chinaka, Takuya Matsumoto, Yoshihisa Kojima, Michiharu Daito, Takayoshi Nakano, Nariaki Matsuura : Synthesis of Hydroxyapatite Containing Manganese and Its Evaluation of Biocompatibility : *Nano Biomedicine* 2010;2(1): 37-46.
 6. Hohki S, Ohguro N, Haruta H, Nakai K, Terabe F, Serada S, Fujimoto M, Nomura S, Kawahata H, Kishimoto T, Naka T. Blockade of Interleukin-6 Signaling Suppresses Experimental Autoimmune Uveoretinitis by the Inhibition of Inflammatory Th17 Responses. *Exp Eye Res* 2010; 91: 162-170.
 7. Nakahara H, Furuya S, Francis P.R., Kinoshita H. Psycho-physiological responses to expressive piano performance. *International Journal of Psychophysiology* 2010; 75: 268-276.
 8. Ogoh S, Nakahara H, Ainslie PN, Miyamoto T. The effect of oxygen on dynamic cerebral autoregulation: critical role of hypocapnia. *J Appl Physiol.* 2010; 108(3): 538-43.
 9. Shiraya S, Miyake T, Aoki M. Reno-vascular Hypertension is a Severe Risk Factor for Development of Abdominal Aortic Aneurysm. *Bullen of Morinomiya University of Medical Sciences.* 2010; 2
 10. Mizuno M, Kawada T, Kamiya A, Miyamoto T, Shimizu S, Shishido T, Smith SA, Sugimachi M. Dynamic characteristics of heart rate control by the autonomic nervous system in rats. *Exp Physiol.* 95:919-925, 2010
 11. Ogoh S, Nakahara H, Ainslie PN, Miyamoto T. The effect of oxygen on dynamic cerebral autoregulation; critical role of hypocapnia. *J Appl Physiol.* 108: 538-543, 2010
 12. Iida C, Oka A, Moritani M, Kato T, Haque T, Sato F, Nakamura M, Uchino K, Seki S, Bae YC, Takada K, Yoshida A. Corticofugal direct projections to primary afferent neurons in the trigeminal mesencephalic nucleus of rats. *Neuroscience.* 2010 169(4):1739-1757.
 13. Fujiwara K, Toyama H, Asai H, Maeda K, Yaguchi C. Regular heel-raise training focused on the soleus for the elderly: evaluation of muscle thickness by ultrasound. *Journal of physiological anthropology.* 2010; 29(1). 23-28
- (3) 査読付き学術論文 (和文)
1. 鍋田智之, 小林理奈, 小島賢久, 山下仁. 鍼灸教員を対象とした模擬ランダム化比較試験の教育的効果. *全日本鍼灸学会雑誌* 2010; 60(2): 182-189.
 2. 坂口俊二, 久下浩史, 小島賢久, 竹田太郎, 宮寄潤二, 佐々木和郎, 森英俊. 冷え症(血管運動神経障害)に対する下肢への低周波鍼通電療法の効果. *日本温泉気候物理医学会雑誌* 2010;73(4): 231-240.
 3. 中村辰三, 川村茂, 北小路博司, 川村敦子, 今井賢治, 松熊秀明. 近赤外線分光法による押圧突起付インナーのヘモグロビン動態評価. *全日本鍼灸学会雑誌* 2010; 60(2): 234-243.
 4. 澤田規, 川畑浩久, 綾田剣一, 中村辰三. 超音波画像診断装置を用いた筋損傷の数値評定法. *日本超音波骨軟部組織学術.* 2010; 10(1): 19-21.

5. 中原英博, 川田徹, 山本裕美, 杉町勝, 宮本忠吉. 低周波鍼通電刺激がヒトの心拍数に及ぼす影響—再現性および鍼刺入深度による影響の検討—. 循環制御 2010; 31(1): 1-8.
 6. 澤田規, 中村辰三, 綾田剣一, 穂積直裕, 小林和人. 超音波診断装置を用いた筋断裂の定量的評価法の開発 —ラットにおける筋断裂の数値化の試み—. 柔道整復・接骨医学 2010; 18(2): 99-103.
 7. 澤田規, 中村辰三, 綾田剣一, 穂積直裕, 小林和人, 川畑浩久. 筋損傷に対する定量的評価法の開発 —超音波診断装置を用いた数値化—. 森ノ宮医療学園紀要 2010; 紀要2号
 8. 澤田規, 石丸圭荘. スポーツ外傷に対するレーザー治療と鍼治療の併用効果. 日本レーザー治療学会誌 2010; 9(2): 59-62.
 9. 石丸圭荘, 澤田規. スポーツ障害に対する LLLT と鍼治療の併用効果について. 日本レーザー治療学会誌 2010; 9(2): 63-66.
 10. 田口大輔, 大村晋司, 澤田規, 竹内義享. 胸郭固定施行時の%肺活量が固定強度に及ぼす影響—固定時に発生する垂直圧を指標として—. 柔道整復・接骨医学 2011; 19(2): 42-47.
 11. 田中 由希子, 福井 基成, 中村文明, 高澤 洋子, 石田 京子, 金尾 顕郎, 入口真紀子, 木村謙太郎. 大阪府下で在宅呼吸ケアを受けている患者とその介護者の実態に関するアンケート調査結果 日本呼吸器学会雑誌 2011
 12. 中川 司. 医学教育における自己学習行動と基盤となる心理的背景 和歌山県立医科大学大学院医学研究科 学位論文 (医科学修士 第59号). 2010年3月.
 13. 中川 司. 血管神経性浮腫と理学療法 (CRPS I型での浮腫発生機序と運動療法理学療法ジャーナル 2010年3月.
 14. 松田淳子. 理学療法の効果判定に適切な具体的指標は~脳卒中~ 理学療法ジャーナル 2010年1月号
 15. 三木屋良輔. 水浸時の呼吸換気低下は呼吸化学調節系の中樞機序の機能特性変化が関与する 大阪市立大学大学院医学研究科平成21年度学位論文集 2010年3月
 16. 中原英博, 川田徹, 山本裕美, 杉町勝, 宮本忠吉. 低周波鍼通電刺激がヒトの心拍反応に及ぼす影響—再現性及び鍼刺入深度による影響の検討— 『循環制御』 pp 229-232, 2010
 17. 中原英博, 宮本忠吉. 短期間・低頻度の高強度持続的インターバルトレーニングが呼吸循環機能に及ぼす影響. 『第25回生体・生理工学シンポジウム論文集』 pp, 117-120, 2010
 18. 中西康人, 中原英博, 外林大輔, 宮本忠吉. 動的運動に対する呼吸循環系の見込み応答. 『第25回生体・生理工学シンポジウム論文集』 pp, 121-124, 2010
- (4) 査読なし学術論文・総説
1. 山下仁. 現代臨床鍼灸学概論 3. 適応症と呼べるエビデンスのレベル. 理療 2010; 40(1): 10-15.
 2. 鍋田智之, 小林理奈, 小島賢久, 山下仁. 教員歴が実技評価に与える影響. 医道の日本 2010; 69(7)通巻 802: 102-106.
 3. Seki T, Yamashita H, Tsukayama H, Tsutani K. Lack of the mention of the adverse events related to acupuncture practices in paediatrics. Pediatrics 2010; August 5.
 4. 山下仁. 現代臨床鍼灸学概論 4. 鍼灸の有害事象と安全性. 理療 2010; 40(2): 9-14.
 5. 山下仁. 現代臨床鍼灸学概論 5. 鍼灸の過誤とその防止策. 理療 2010; 40(3): 7-13.
 6. 坂本豊次. 全身性病変を伴った慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の症例, 鍼灸OSAKA 98, 森ノ宮医療学園出版部 2010; 26(2): 55-66.
 7. 七堂利幸, 井上悦子, 金子泰久, 小島賢久, 伊藤薫, 校條由紀, 松下美穂, 大門昌昭, 森優也, 房前素徳. 偽円皮鍼の信憑性テストのまとめ(解説). 医道の日本 2010; 69(8): 106-113.
 8. 川畑浩久, 根来信也, 外林大輔, 吉川徹. EBJ(Evidence Based Judo-Therapy)の確立に向けての基礎研究の役割. 兵庫学術誌 2010; 37: 15-20.
 9. 中原英博. 短期間・低頻度の高強度インターバルトレーニングが呼吸循環機能に及ぼす影響 生体・生理工学シンポジウム論文集 2010; 117-120.

10. 中原英博. 呼吸循環制御の動作原理からみた慢性心不全病態の定量的理解. 生体・生理工学シンポジウム論文集 2010; 229-232.
11. 鍋田智之, 高橋千恵, 川口須美子, 池ノ上慎, 瀬川真澄, 小島賢久. はり師・きゅう師養成校における臨床実習前評価に関する調査. 医道の日本 2010; 通巻 807: 94-100.
12. 鍋田智之, 前田稔行, 水森貴子, 山本達也. はり師・きゅう師養成校におけるマナー教育の現状. 医道の日本 2010; 通巻 797: 138-144.
13. 金尾 顕郎. 巻頭言 「east meets west」 PT ジャーナル 2010
14. 金尾 顕郎. 呼吸ケアがつなぐ地域連携の道しるべ 呼吸器ケア 2010 Vol.8 No.9 P.54-59
15. 金尾 顕郎, 丹羽 亜希美, 角田 晃啓. 手技の実際とリスクマネジメントー排痰法とその選択ー 看護技術 2011 Vol.57 No.4
16. 青木元邦. 核酸医薬. 診断と治療「花粉症からアナフィラキシーまで」先端医学社 2010;99 巻 2 号
17. 青木元邦. 白衣高血圧と血清 P, MetS 先端医学社 血圧 2010;11 月号
18. 宮本忠吉, 中原英博, 宍戸稔聡, 川田徹. 呼吸循環制御の動作原理から見た慢性心不全病態の定量的理解.『第 25 回生体・生理工学シンポジウム論文集』pp, 229-232, 2010
19. 松田淳子. 神経疾患の症例のまとめ方 大阪府理学療法士会誌 2010 年
20. 上田喜敏. 訪問介護サービス 株式会社 日総研. 2010.11~2011.3
21. 上田喜敏. 人間工学的視点から見た安全な患者介助~保健衛生業の腰痛問題 「ライフサポート」(日本ライフサポート学会). 2010.Vol22.No2.9-12

(5) 著書

1. 山下仁, 増山祥子. 日本における腰痛に対する鍼治療. 全日本鍼灸学会編集. エビデンスに基づく腰痛症の鍼灸医学. 東京: 医歯薬出版; 2010. p. 37-40.
2. 津嘉山洋, 山下仁. 鍼臨床試験の難しさ. 全日本鍼灸学会編集. エビデンスに基づく腰痛症の鍼灸医学. 東京: 医歯薬出版; 2010. p. 91-93.
3. 金尾顕郎, 永瀬佳孝. PT・OT・ST のための解剖学・生理学から組み立てる運動器のリハビリテーション 下肢・体幹編. 大阪: メディカ出版; 2010.
4. 金尾顕郎・永瀬佳孝. やりなおし 運動器のリハビリテーション 上肢・体幹編.大阪: メディカ出版; 2011.
5. 藤重仁子, 藤原郁郎, 西川秀和, 藤伸. 『実践的時事英語: ザ・デイリー・ヨミウリを読む』. 岡山: 大学教育出版; 2010.
6. 金尾 顕郎. 呼吸介助法 P.197-211 初学者のための呼吸理学療法テキスト メディカ出版
7. 金尾 顕郎. ADL 指導と在宅での体力改善運動 P.266-233 初学者のための呼吸理学療法テキスト メディカ出版
8. 青木元邦. 脂質異常症と閉塞性動脈硬化症 予防とつきあい方シリーズ「改訂版 脂質異常症・肥満~動脈硬化~」メディカルレビュー社
9. 河村廣幸. 末梢循環障害の理学療法 岡西哲夫他編: 骨・関節系理学療法クイックリファレンス第 2 版 p348-356 文光堂
10. 中川 司. 機能障害に対するアプローチと姿勢評価運動器のリハビリテーション シリーズ 1. メディカ出版
11. 中川 司. 機能障害に対するアプローチと姿勢評価運動器のリハビリテーション シリーズ 2. メディカ出版

(6) 国際学会発表

1. Yamashita H. Current status of acupuncture practice in Japan especially focusing on headache. The 11th Symposium, The Korean Medicine Association of Stroke. Busan, Korea. 2010 年 10 月 3 日.
2. Kaneko Y, Furuya E, Sakamoto A, Yamashita H. The effect of thumbtack needle treatment on muscle soreness after triathlon race - Double-blind randomized controlled trial and review of the relevant literature in Japan - . World Fedeariton of Acupuncture and Mixibustion Societies 2010 American International Acupuncture Symposium. San Francisco, USA. 2010 年 11 月 6-7 日.
3. Masuyama S, Yamashita H, Tsukayama H. Literature review and evaluation of clinical trials on acupuncture in Japan: update in 2010. World Fedeariton of

Acupuncture and Mixibustion Societies 2010 American International
Acupuncture Symposium. San Francisco, USA. 2010年11月6-7日.

4. Obata S, Nakahara H, Hirano T, and Kinoshita H. The left finger force during violin vibrato. 11th International Conference on Music Perception and Cognition : ICMPC11, University of Washington, Seattle, USA. 2010年
5. Miyake T, Aoki M, Osako MK, Shimamura M, Nakagami H, Morishita R. Systemic Administration of Ribbon-type Decoy Oligodeoxynucleotide Against Nuclear Factor κ B and Ets Prevents Abdominal Aortic Aneurysm in Rat Model. 19th Scientific Meeting International Society of Hypertension Vancouver, Canada. 2010
6. Hashizume T, Kitagawa H, Ueda H, Miyamoto T. Relationship between wheelchair user's physical load and road environment by energy metabolism and wheelchair driving force. 12th International Conference on Mobility and Transport for Elderly and Disabled Persons. Hong Kong, China. 2-4 June 2010.
7. Ueda H, Sugimoto Y, Suzuki K. A report of the care-related back injuries problem of the Health care workers in Japan and Introduction of our study group. Safe Patient Handling and Movement Conference 2011. Florida, USA. 26-31 March 2011.

(7) 国内学会発表・講演

1. 古屋英治, 山下仁, 高倉伸有, 角谷英治, 菅原之人, 會澤重勝, 浦山昌生, 金子泰久, 高澤直美, 山口宣夫, 川喜田健司. 鍼の臨床研究の現状—シャム鍼とその効果を巡る諸問題—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月11日.
2. 高田外司, 中田和宏, 新保均, 常盤和成, 林俊秀, 増山祥子, 山下仁. 金沢市における鍼灸師のB型およびC型肝炎ウイルス感染実態調査. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月12日.
3. 津嘉山洋, 古川聡子, 増山祥子, 山下仁. がん患者に対する鍼灸治療—エビデンスに基づく鍼灸ガイドライン—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月13日.
4. 田島里美, 小津野理奈, 山下仁. 音楽家鍼灸の確立可能性に関する研究(1)—高校生、社会人、プロを対象とした質問調査—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月12日.
5. 大月隆史, 小島賢久, 山下仁. 鍼灸学系大学生のEBMに対する認識—新設大学における質問紙調査—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月12日.
6. 山下仁. 国内における鍼の多施設臨床試験の概要. 第17回鍼灸の研究と教育に関する研究会. 森ノ宮医療大学, 大阪. 2010年8月29日.
7. 山下仁. 鍼灸研究と臨床の接点. 第6回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会概要. 京都テルサ, 京都. 2010年10月11日.
8. 山下仁. 未病に対する鍼灸治療効果. NPO法人 医療と保険と保健の未来を考える会. 日本外国特派員協会, 東京. 2011年3月3日.
9. 坂口俊二, 小島賢久, 竹田太郎, 宮寄潤二, 久下浩史, 佐々木和郎, 森英俊. 体位変換負荷試験による若年女性の冷え症の客観的評価. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
10. 竹内裕司, 倉林讓, 森俊豪, 安雲和四郎, 尾崎朋文, 小島賢久. イヌおよびネコの経穴図作成の試み(第一報). 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
11. 小島賢久, 村松夏子, 長谷川香代, 加藤由衣, 臼井明宏, 水野浩一, 木村博吉, 杉山誠一. OSCEにおける受験生が外部評価者から受ける影響の検討. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
12. 坂口俊二, 小島賢久, 竹田太郎, 宮寄潤二, 久下浩史, 鈴木聡, 佐々木和郎, 森英俊. 下肢血管反応による若年女性の冷え症評価. 第63回日本自律神経学会. 2010年10月.
13. 坂口俊二, 久下浩史, 宮寄潤二, 竹田太郎, 小島賢久, 佐々木和郎, 森英俊. 血管運動神経障害(いわゆる冷え症)に対する低周波鍼通電療法の効果. 日本温泉気候物理医学会. 2010年11月.
14. 森田貴清, 小森友華, 水口絵理, 松熊秀明, 中村辰三. 瞳孔自律反射に対する鍼治療の影響. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月12日.

15. 澤田規, 川畑浩久, 綾田剣一, 中村辰三. 超音波画像診断装置を用いた筋損傷の数値評定法. 第10回日本超音波骨軟部組織学会学術集会. 大阪. 2010年10月.
16. 川畑浩久, 根来信也, 吉川徹, 葉山直史, 伊黒浩二, 外林大輔, 澤田規, 中村辰三. 関節拘縮における滑膜の組織学的変化の検討. 第19回柔道整復接骨医学会. 富山. 2010年9月.
17. 澤田規, 川畑浩久, 綾田剣一, 中村辰三. 軟部組織損傷における定量的評価法—フラクタル次元解析と組織学的検討—. 第19回柔道整復・接骨医学会. 富山. 2010年9月.
18. 小河繁彦, 宮澤太機, 中原英博, 宮本忠吉. 起立ストレス時の脳循環動態と呼吸調節機能との連関. 第24回呼吸研究会. 千葉.
19. 辻丸泰永, 鈴木信, 西村明洋, 佐藤正人, 坂本豊次. 大学鍼灸学科における診察. 技術習得を目標とした授業の試行. 第59回(社)全日本鍼灸学術大会大阪大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月11-13日.
20. 涌田裕美子, 尾崎朋文, 門野章, 松下美穂, 辻丸泰永, 高木保子, 宮寄潤二, 内野勝郎, 金田正徳, 森俊豪, 森谷正, 吉田篤. 清明穴のWHO標準経穴と旧経穴との肉眼解剖学的検討. 第59回(社)全日本鍼灸学術大会大阪大会. 大阪国際会議場(グランキューブ大阪), 大阪. 2010年6月11-13日.
21. 涌田裕美子, 尾崎朋文, 辻丸泰永, 坂本豊次, 森谷正之, 森俊豪, 松下美穂, 門野章, 北村清一郎, 吉田篤. 頭部刺鍼での安全性についての検討(1)—遺体での頭頂孔の出現頻度と刺鍼での危険性について—. 全日本鍼灸学会近畿支部 第30回近畿支部学術集会. 明治東洋医学院, 大阪. 2010年11月21日.
22. 藤重仁子. ヘルスケア労働力のアメリカへの移動—フィリピン人看護師を事例として. アメリカ学会第44回年次大会. 大阪大学, 大阪. 2010年6月6日.
23. 中原英博, 宮本忠吉. 低頻度・超高強度持続的インターバルトレーニングは呼吸循環機能を向上させる. 第25回生体生理工学シンポジウム 岡山 2010年9月
24. 中原英博, 宮本忠吉. 低頻度の全力インターバルトレーニングが呼吸循環機能に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会 千葉, 2010年9月
25. 中尾優希, 涌田裕美子, 尾崎朋文, 辻丸泰永, 澤田規, 森俊豪. 神堂・諤諤・魂門穴の刺鍼方法と安全深度の検討. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会(大阪大会). 大阪国際会議場(グランキューブ大阪), 大阪. 2010年6月12日.
26. 綾田剣一, 澤田規, 中村辰三. 胸郭出口症候群における理学検査の信頼性—脈管テストおよび神経刺激テストの感度と特異度—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
27. 山本哲也, 澤田規, 中村辰三. 画像解析による施灸痕の客観的評価の有用性—施灸熱量と施灸痕の関係—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
28. 岩崎礼佳, 澤田規, 山本哲也, 中村辰三. 灸刺激が腫脹に及ぼす影響. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
29. 澤田規, 山本哲也, 中村辰三. 画像解析による施灸痕の客観的評価に及ぼす影響—画像読込装置による違い—. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
30. 大西妙美, 澤田規, 尾崎朋文. 背部愈穴における鍼の安全刺入深度に関する研究. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
31. 中尾優希, 涌田裕美子, 尾崎朋文, 辻丸泰永, 澤田規, 森俊豪. 85神堂、イキ、魂門穴の刺鍼方法と安全深度の検討. 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会. 大阪国際会議場, 大阪. 2010年6月.
32. 澤田規. スポーツ外傷に対するレーザー治療と鍼治療の併用効果. 第22回レーザー治療学会. 横浜シンポジア, 横浜. 2010年6月.
33. 澤田規, 川畑浩久, 綾田剣一, 中村辰三. 軟部組織損傷における定量的評価法—フラクタル次元解析と組織学的検討—. 第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 富山国際会議場, 富山. 2010年9月.
34. 綾田剣一, 澤田規, 中村辰三. 胸郭出口症候群における理学検査の検討—脈管テストおよび神経刺激テストの感度と特異度—. 第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 富山国際会議場, 富山. 2010年9月.

35. 前田尚利, 奥山建志, 澤田規. 臨床所見と X 線検査との相違 —OTTAWA KNEE RULE を指標として—. 第 19 回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 富山国際会議場, 富山. 2010 年 9 月.
36. 原口卓人, 奥山健志, 澤田規. 顎関節脱臼の口外法における考察 —ベクトルを考慮した整復法—. 第 19 回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 富山国際会議場, 富山. 2010 年 9 月.
37. 守永和哉, 奥山建志, 澤田規. 両前腕骨骨折における観血療法と保存療法を併用した一症例. 第 19 回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 富山国際会議場, 富山. 2010 年 9 月.
38. 川畑浩久, 根来信也, 葉山直史, 伊黒浩二, 外林大輔, 吉川徹, 澤田規, 中村辰三. 関節拘縮における滑膜の組織学的変化の検討. 第 19 回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 富山国際会議場, 富山. 2010 年 9 月.
39. 澤田規, 川畑浩久, 綾田剣一, 中村辰三. 超音波画像診断装置を用いた筋損傷の数値評価法. 第 10 回 日本超音波骨軟組織学会 学術総会. 富士通関西システムラボラトリ, 大阪. 2010 年 10 月.
40. 綾田剣一, 澤田規. スポーツ現場における超音波画像観察装置の活用—フルコンタクト空手 (拳法) の試合において—. 第 10 回 日本超音波骨軟組織学会 学術総会. 富士通関西システムラボラトリ, 大阪. 2010 年 10 月.
41. 奥山建志, 前田尚利, 澤田規. 超音波観察では異常が認められなかった 2 症例 —OTTAWA KNEE RULE の活用—. 第 10 回 日本超音波骨軟組織学会 学術総会. 富士通関西システムラボラトリ, 大阪. 2010 年 10 月.
42. 鍋田智之. 日本における鍼灸臨床研究の現状と問題点. 第 59 回 (社) 全日本鍼灸学会学術大会. シンポジウム「鍼灸のエビデンスと評価法の再考, 大阪. 2010 年 6 月 13 日.
43. 池ノ上慎, 高橋千恵, 川口須美子, 瀬川真澄, 奈良上眞, 鍋田智之. はり師きゅう師養成機関における臨床実習前評価の現状. 大阪. 2010 年 6 月 11 日.
44. 鍋田智之, 奈良上眞. 多施設間 OSCE における標準模擬患者 (SP) と内・外部評価との関係. 大阪. 2010 年 6 月 11 日.
45. 金尾 顕郎. 生態心理系アプローチ 日本理学療法士協会現職習会 福井 平成 22 年 7 月
46. 金尾 顕郎. 生態心理系アプローチ 日本理学療法士協会現職習会 静岡 平成 22 年 10 月
47. 金尾 顕郎. トランスファ 大阪府看護協会 大阪 平成 22 年 7 月
48. 金尾 顕郎. 呼吸介助法 大阪呼吸ケア研究会リハビリテーション分科会講習会 大阪 平成 22 年 7 月
49. 金尾 顕郎. 腹臥位と呼吸療法 藤田保健衛生大学 理学療法学科研究会 愛知 平成 22 年 3 月
50. 金尾 顕郎. 呼吸介助法 大阪呼吸ケア研究会リハビリテーション分科会講習会 大阪 平成 22 年 7 月
51. 金尾 顕郎. 移乗動作 新人看護師教育システム 北野病院 平成 22 年 5 月
52. 金尾 顕郎. 移乗動作 呼吸理学療法講習会 北野病院 平成 22 年
53. 金尾 顕郎. 在宅ケアチーム指導 上山病院 平成 22 年
54. 金尾 顕郎. 本院での呼吸ケア 上山病院 平成 22 年
55. 金尾 顕郎. 症例検討について 東大阪病院 平成 22 年 7 月
56. 金尾 顕郎. 呼吸ケア 地域医療包括呼吸ケアを考える会 (講演と技術指導) 平成 22 年 11 月
57. 金尾 顕郎. 呼吸介助法 南近畿呼吸ケア研究会講習会 (講演と技術指導) 平成 22 年 7 月、11 月
58. 金尾 顕郎. 呼吸困難を持つ患者さんにこんな工夫はいかがですか 第 15 回東淀川・淀川呼吸器研究会 大阪 平成 23 年 2 月
59. 金尾 顕郎. 呼吸理学療法実技講習 市立堺病院 呼吸ケア・リハビリテーションチーム研修会 大阪 平成 23 年 2 月
60. 金尾 顕郎. 呼吸リハビリ NPO 法人あおぞら財団講習会 大阪 平成 23 年 3 月
61. 金尾 顕郎. らくらく呼吸法 NPO 法人あおぞら財団講習会 大阪 平成 22 年 1 月
62. 金尾 顕郎. 症例検討司会 呼吸リハビリテーション症例検討会 大阪 平成 22 年度
63. 金尾 顕郎. 運動器のリハビリテーション メディカ出版主催 大阪・東京 平成 22 年度

64. 河村廣幸. 肩の痛み・肩こりの対策と予防：肩の痛み・肩こりの理学療法 教職員自主研修支援「大学・専修学校等オープン講座」2010年8月
65. 松原勝美. 家庭におけるマッサージについて 大阪商工会議所婦人部研修会 大阪 平成22年8月
66. 松原勝美. 鍼灸マッサージに応用できるストレッチ体操 京都府鍼灸マッサージ師会 学術研修会 京都 平成23年3月
67. 河村廣幸. 肩関節拘縮の治療：ストレッチについて PT・OT・STのための運動器のリハビリテーション シリーズⅡ メディカ出版セミナー 2010年3月
68. 河村廣幸 他. 24P 撮影による8mm 映像複写時のフリッカー除去 日本医学写真学会 第51回定例学会 2010年6月
69. 青木元邦. 創業における治験の観点から：EBMは何故重要なのか？第59回（社）全日本鍼灸学会学術大会シンポジウム 大阪. 2010年6月
70. 青木元邦. 座長 日本血管生物学会 大阪 2010年12月
71. 青木元邦. 動脈硬化の成因の PAD マネージメント 三菱田辺研修会 大阪 2010年9月
72. 青木元邦. 血管疾患に対する分子治療法：最新治療の現状 大手前病院心血管カンファレンス 大阪 2010年6月
73. 宮本忠吉. 呼吸調節機能の解析とその応用 第22回バイオエンジニアリング講演会 岡山 2010年1月
74. 宮本忠吉. 運動時における呼吸化学調節系の動作原理の解明 -システム生理学的アプローチの重要性- 大阪大学バイオメックフォーラム 21 研究会、大阪、2010年4月
75. 宮本忠吉. 心不全における自律神経系および呼吸異常の病態メカニズム-呼吸循環制御の動作原理からみた慢性心不全病態の定量的理解-, 第25回生体生理工学シンポジウム、岡山、2010年9月
76. 宮本忠吉、外林大輔、中西康人、中原英博. 高位中枢による予測的・見込み的な呼吸循環制御の運動生理学的意義. 第65回日本体力医学会 千葉、2010年9月
77. 中西康弘、中原英博、外林大輔、宮本忠吉. 動的運動に対する呼吸循環系の見込み応答. 第25回生体生理工学シンポジウム 岡山 2010年9月
78. 南方克之、中村允之、岩橋秀夫. ラット肝ミクロゾームとアラキドン酸との反応溶液中に生成するラジカルの検出と同定 BMB2010(第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会) 神戸 2010年12月
79. 中川 司. メディカ出版現職者講習「運動器のリハビリテーション下肢編」. メディカ出版本社、大阪. 2010年3月
80. 中川 司. メディカ出版現職者講習「運動器のリハビリテーション下肢編」. メディカ出版本社、東京. 2010年3月
81. 中川 司. 厚労省大阪府看護協会共催拘束予防講習会「適切な福祉機器の選び方」. ナーシングアート大阪、大阪. 2010年3月
82. 中川 司. 大阪府看護協会成人看護講習会「リハビリテーションの基礎知識」. ナーシングアート大阪、大阪. 2010年7月
83. 中川 司. 大阪府看護協会成人看護講習会「生活の質の確保 (QOL)」. ナーシングアート大阪、大阪. 2010年7月2
84. 中川 司. メディカ出版現職者講習「運動器のリハビリテーション上肢編」. メディカ出版、神戸. 2010年9月
85. 中川 司. メディカ出版現職者講習「運動器のリハビリテーション上肢編」. メディカ出版、東京. 2010年9月
86. 中川 司. 和歌山士会現職者講習「運動器のリハビリテーション」. 和歌山労災、和歌山. 2010年11月14日.
87. 中川 司. 厚労省大阪府看護協会共催拘束予防講習会「適切な福祉機器の選び方」. ナーシングアート大阪、大阪. 2010年12月
88. 松田淳子. 座長 日本理学療法士協会神経理学療法研究部会学術集会 2010年

89. 松田淳子. 症例のまとめ方 第22回大阪府理学療法学会大会 2010年
90. 前田薫. 随伴陰性変動(CNV) 日本健康行動科学会第9回学会大会シンポジウム 金沢 2010年10月
91. 前田薫. 座長 日本健康行動科学会第9回学会大会 金沢 2010年10月
92. 前田薫, 藤原勝夫, 伊禮まり子, 清田岳臣, 矢口智恵. 床振動時の立位姿勢制御の適応に伴う前頭葉誘発脳電位の変化 日本健康行動科学会第9回学会大会 金沢 2010年10月
93. 前田薫, 藤原勝夫, 伊禮まり子, 清田岳臣, 矢口智恵. 周期的床振動に対する立位姿勢制御の適応に伴う脳電位の変化 日本健康行動科学会第9回学会大会 金沢 2010年10月
94. 上田喜敏. スキルアップ講座「持ち上げない移動・移乗」. 静岡県介護実習・普及センターにて専門職講習. 静岡県介護実習・普及センター. 2010年7月, 11月, 12月
95. 上田喜敏. 人間工学に基づいた安全な患者/利用者介助と移動 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 ひょうごアシステック研究会 兵庫県民会館. 2010年10月
96. 上田喜敏. 腰痛の原因と対策 平成22年度リフトリーダー養成研修. 静岡県介護実習・普及センター. 静岡. 2010年12月
97. 上田喜敏. 食事・更衣・整容の活動と用具 平成22年度福祉用具プランナー管理指導者養成モデル研修. テクノエイド協会. 東京. 2010年12月
98. 上田喜敏. 腰痛の原因と対策 平成22年度リフトリーダー養成研修. 富山県社会福祉協議会. 富山. 2010年12月
99. 上田喜敏. 「高齢者の身体特性」, 「ADLの理解と基本動作」, 「コミュニケーション・社会参加・食事・更衣・整容関連用具(演習)」, 「起居関連用具(実技)」, 「移乗関連用具(実技)」, 「移動関連用具(実技)」, 「入浴関連用具(実技)」. 平成22年度福祉用具プランナー研修. 財団法人フランスベッドメディカルホームケア研究・助成財団. 大阪. 2011年1月, 2月.
100. 上田喜敏. 「腰痛の原因と対策」 「移乗関連用具指導法」. 平成22年度リフトリーダー養成研修. 和歌山介護実習普及センター. 和歌山. 2011年1月
101. 上田喜敏. 腰痛の原因と対策 平成22年度リフトリーダー養成研修. なごや福祉用具プラザ. 愛知. 2011年3月
102. 立石広志, 上田喜敏, 佐藤克也, 伊藤伸一, 藤澤正一郎. 介助者の重心位置とベッド高の関係が腰部負荷におよぼす影響. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会:主催 機械工学学会, 大阪. 2010年9月
103. 橋詰努, 北川博巳, 上田喜敏, 宮本忠吉, 高見正利他. スロープ路面と車いす使用者の身体的負担の研究. 第19回交通物流部門大会(TRANSLOG2010):主催 日本機会学会, 川崎. 2010年12月
104. 丹羽亜希美, 角田晃啓, 三木屋良輔, 河村 廣幸, 金尾顕郎, 森谷 正之. ラット咬筋に分布する高閾値機械受容性一次求心線維の中樞投射の解明 第45回日本理学療法学会大会 岐阜 2010年5月
105. 角田 晃啓, 丹羽 亜希美, 三木屋 良輔, 上田 喜敏, 中川 司, 松原 勝美, 松田 淳子, 河村 廣幸, 金尾 顕郎, 森谷 正之. 咀嚼筋感覚と顔面皮膚感覚を伝える三叉神経節由来一次求心性ニューロンでの免疫組織化学的特性の比較 第45回日本理学療法学会大会 岐阜 2010年5月
106. 角田晃啓, 河村廣幸. 動作分析指導における動画撮影の有用性について 日本医学写真学会 第51回定例学会 2010年6月

(青木 元邦)

7. 研究支援室の事項について

1. 文部科学省 科学研究費 説明会 参加状況について

①「科学研究費補助金の実務担当者説明会」

「平成 23 年度科学研究費補助金公募要領等説明会」

日時：平成 22 年 9 月 14 日（火）

場所：京都大学桂キャンパス 船井哲良記念講堂

②「研究機関における公的研究費の管理・監査に関する研修会」

日時：平成 23 年 1 月 26 日（水）

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 6 階 薩埵ホール

2. 科学研究費補助金応募組状況（研究計画調書提出）について

提出月：10 月～11 月

提出先：日本学術振興会

研究種目名	応募者
平成 23 年度 基盤研究 (C)	青木 元邦
	森谷 正之
	鍋田 智之
	尾崎 朋文
	松田 淳子
	川畑 浩久
	増山 祥子
平成 23 年度 挑戦的萌芽研究	永瀬 佳孝
	澤田 規
	丹羽 亜希美
平成 23 年度 若手研究 (B)	前田 薫
	中原 英博
	角田 晃啓

3. 科学研究費補助金交付について

(金額 単位：円)

研究代表者の氏名	研究種目等	課題番号	交付額等
山下 仁	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤研究 C)	21500670	交付額 1,820,000
			うち直接経費 1,400,000 間接経費 420,000
宮本忠吉	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤研究 C)	22500617	交付額 2,210,000
			うち直接経費 1,700,000 間接経費 510,000
松熊秀明	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤研究 C)	22590670	交付額 2,470,000
			うち直接経費 1,900,000 間接経費 570,000

4. その他の外部資金研究費等について

研究者の氏名	研究種目等	交付額等	備考
森谷 正之	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤研究C) 課題番号 20592138 研究分担者 分担金	分担金配分額 195,000 うち直接経費 150,000 間接経費 45,000	研究代表者所属 大阪大学・ 大学院歯学研究科・ 教授 吉田 篤
青木 元邦	経済産業省 近畿経済産業局 平成19年度 地域コンソーシアム	補完研究	NPO 法人 近畿バイオインダストリー 振興会議

(金額 単位:円)

5. 調書等提出状況

提出月	書類名	提出先
4月	平成21年度委託事業収支決算報告書	国立循環器病センター研究所
	・平成22年度科学研究費補助金交付申請書 ・平成22年度科学研究費補助金交付請求書	文部科学省
5月	・補完研究コンソーシアムに係る共同研究契約書 ・経済産業省所管に属する物品の使用又は転貸に関する契約書 ・借受書	NPO 法人 近畿バイオインダストリー振興会議
	産学連携等実施状況調査(平成21年度実績)調書	文部科学省
	平成21年度科学研究費補助金実績報告書(収支決算報告書)	文部科学省
6月	競争的資金に係る間接経費執行実績報告書(平成21年度)	文部科学省
7月	科学技術研究調査調書	総務省
	平成22年度科学研究費補助金に係る分担金受領委任状・振込依頼書	大阪大学
	平成22年度大学等における科学技術・学術活動実態調査 回答	文部科学省
	平成22年度大学等発ベンチャーの現状と産学連携の課題に関する調査 回答	文部科学省
10月	「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づく体制整備等の実施状況報告書 平成22年度	文部科学省
3月	平成22年度科学研究費補助金に係る分担金経理報告書	大阪大学

6. その他

国立情報学研究所 ILL 文献複写等料金相殺サービス利用の経理責任を担っている。
Read に研究機関として登録し機関管理を担っている。

(葉廣 泰代)

8. 寄付金募集活動について

過去における実績と第Ⅲ期（平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月末）までの寄付者の内訳は次の通りであった。

寄付募集状況

第Ⅰ期（～平成 21 年 3 月末） 第Ⅱ期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月末）		第Ⅲ期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月末）	
区分	寄付金額	区分	寄付金額
役員	15,800,000	役員	—
教員	5,730,000	教員	—
職員	740,000	職員	—
非常勤	2,540,000	非常勤	1,000,000
在校生（保護者含む）	700,000	在校生（保護者含む）	—
卒業生（保護者含む）	2,630,000	卒業生（保護者含む）	220,000
法人	2,350,000	法人	2,500,000
その他	2,630,000	その他	—
計	33,120,000	計	3,720,000

（西堀 文雄）

9. 教務室の事項について

1) 履修登録について

昨年度と同様、通常の履修登録に加えて以下のとおり業務を行った。

(1) 既修得単位認定申請状況

所属学科	申請者数	申請単位数	認定者単位数
理学療法学科	2名	7単位	4単位

既修得単位認定の募集を行い、理学療法学科1年生の学生については3科目(5単位)の申請があり、そのうち1科目(2単位)が認定された。また、理学療法学科3年生の学生については1科目(2単位)の申請があり、申請のとおり認定された。

(2) 編入学生入学状況

所属学科	編入学した学年	編入学生数
鍼灸学科	4年生	1名

今年度より鍼灸学科4年次に編入学生の受け入れを行い、卒業に必要な科目の履修についての手続き等、滞りのないよう行った。

2) 学生支援システム GAKUEN および UNIVERSAL PASSPORT の導入について

既存学科の学生数の増加や平成23年度に保健医療学部看護学科を開設することもあり、事務作業の効率化や人的ミスを防ぐため、昨年度より準備を進めていた学生支援システム GAKUEN および UNIVERSAL PASSPORT (以下、総称して「学務システム」という)の導入を行った。これにより、学生の出席管理や休講補講管理、成績管理、学籍情報等の授業運営に必要な情報や個人情報の管理を一括して行うことが可能となった。今後も学務システムを活用し、学生にとってよりよい環境を提供できるよう支援していきたい。

(1) 学務システム説明会の実施

各教員や学生に対して、以下のとおり学務システム説明会を実施した。

①第一回学務システム説明会(教員対象)

日 時：平成22年5月20日(木)14:30～

対 象：常勤講師

参加人数：25名

内 容：出欠入力システムの操作方法の説明

②第二回学務システム説明会(教員対象)

日 時：平成22年6月17日(木)15:30～

対 象：常勤教員

参加人数：24名

内 容：採点入力システムの操作方法の説明

③学務システム説明会(学生対象)

日 時：第一回目 平成22年6月30日(水)18:00～

第二回目 平成22年7月1日(木)18:00～

第三回目 平成22年7月2日(金)18:00～

第四回目 平成22年7月26日(月)16:30～

対 象：本学学生

(第四回目のみ理学療法学科4年生のうち第一回目～第三回目が実習により参加できなかった学生のみ対象)

内 容：学務システムへのログイン方法や出欠確認、時間割確認等の基本的操作についての説明

④学務システムについてのオリエンテーション

日 時：導入後、兼任講師の来学時に随時対応

- 対 象：兼任講師
内 容：学務システムへのログイン方法や出欠入力システムの操作方法、採点入力システムの操作方法の説明

3) 授業運営について

授業運営が円滑に行われるよう、授業運営支援業務として次のとおり実施した。

(1) 出席の取り扱いについて

昨年度までは教務室が管理を行う出席簿に各担当教員が学生の出席状況を記載していたが、学務システムの導入により、各担当教員が講義後に学務システム上に出欠入力をする事で、学生が自身の出席状況を即座に確認できるようになった。それにより、出席について不明な点がある学生については、担任等を介さず直接担当教員へ確認できるようになった。

(2) 休講、補講について

学務システムの導入に伴い、休講補講状況を入力することで、学生が学内掲示板のみならず学務システム上においても休講補講状況を確認できるようにした。また、学務システム上への入力だけではなく、時間割変更においての授業の重複を防ぐため、昨年度に引き続き時間割管理台帳を使用し、重複等がないか即座に確認できるよう業務を行った。

(3) 教室利用について

学生数の増加に伴い、通常授業に加えて卒業研究や自習を申し出る学生が増加したことから、施設使用願いの提出を義務付け、グループウェア上 (Hot Biz) において教室の予約状況、使用状況を管理し、教職員間において閲覧できるよう仕組みづくりを行った。また、実技室等については昨年度に引き続き各学科での管理を行っている。

(4) 授業用の物品について

教科書販売に関しては、昨年度に引き続き提携業者と連携し、円滑に販売が行えるよう支援を行った。また、演習室等のプロジェクターが未設置である教室利用が増加したため、ポータブルタイプのプロジェクターを1台購入した。

(5) 授業アンケートの実施について

学生に対してよりよい授業を提供するために、昨年度に引き続き前期と後期に全授業を対象として授業評価アンケートを実施した。また、アンケート結果を基に、各担当教員へはリフレクション・ペーパーの記入を依頼し、授業内容等の改善に協力いただいた。リフレクション・ペーパーの回答は、今年度より学務システムを導入したことに伴い、Webを利用した学務システム上での記載をお願いした。なお、アンケート結果およびリフレクション・ペーパーの内容については、取りまとめて自己点検・評価・FD委員会へ提出し、学生に対しては、授業評価の内容とリフレクション・ペーパーの内容をまとめて、学内掲示板に掲示することにより情報公開を行った。また、アンケート結果は以下のとおりである。

① 授業アンケート質問内容について

・授業の運営について

- 問1 授業の開始・終了時間を守っていましたか
問2 授業の内容はよくわかりましたか
問3 シラバスにそった授業でありましたか
問4 教科書は適切に使用して授業がおこなわれていましたか

・教員について

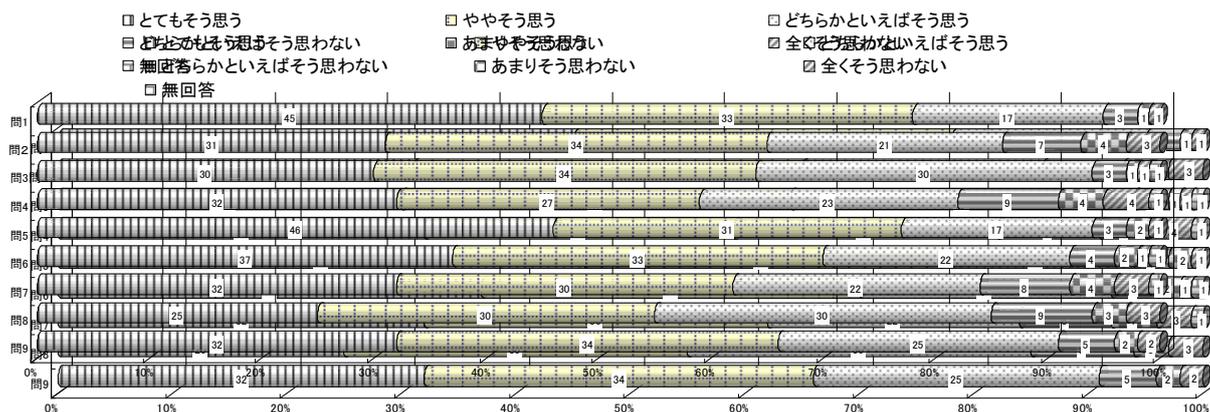
- 問5 担当教員の熱意を感じましたか

- 問6 学生の提出課題や質問等に適切に対応していましたか
- 問7 板書や映像等見やすく、話し方も聞き取りやすかったですか
- ・自らの履修態度について
- 問8 わからないことは、質問したり、自分で調べましたか
- 問9 自らが熱意をもって授業に臨みましたか

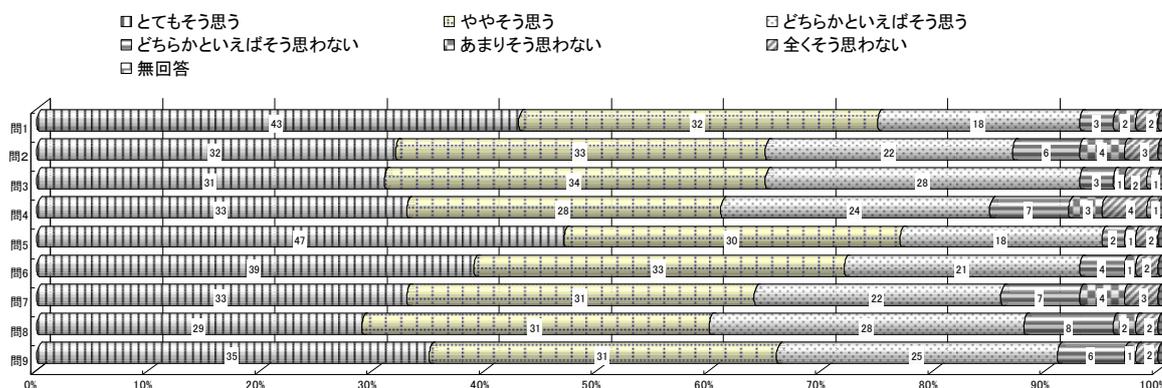
※回収アンケート数 前期 5,667 件、後期 4,833 件

② 平成22年度 授業アンケート結果について

i) 前期



ii) 後期



アンケート結果によると、各設問に対して約8~9割以上の学生が肯定的な回答を行っている。しかしながら、自由意見記入欄の「改善してほしい点」によると、授業の進め方・話し方、板書、授業環境などにおいて、いくつか否定的な意見が伺えた。なお、この結果を受けて教員のリフレクション・ペーパーからは、学生の要望を受け入れるなど改善に前向きであった。今後も学生の授業満足度向上の為に、授業アンケートを継続して行い、教員と学生双方にとってよりよい授業運営となるよう情報収集・情報提供を継続したい。

4) 成績関連業務について

学科試験から成績管理、成績発表に関わる業務を下記のとおり実施した。

(1) 定期試験受験資格について

定期試験受験資格の有無については、学生に学務システム上にて出席状況の確認を行うよう周知徹底し、同時に担当教員および担任へも注意喚起を行った。また、担当教員が入力した出席状況をもとに集計を行い、誤りのないよう受験資格の有無の判断を行った。

(2) 学科試験の運用について

学科試験を実施するにあたり、兼任講師および常勤講師の都合等を考慮して試験時間割表の作成や試験問題作成依頼等を行うことにより、スムーズな運営が可能となった。

(3) 成績について

昨年度までは、担当教員よりエクセルデータにて成績の提出をお願いしていたが、今年度より学務システム上にて担当教員により直接、成績入力を行った。それにより、転記する際の人的ミスを防ぐことが可能となった。また、学生や保護者・保証人に対しての前期最終成績発表および学年末成績発表については学務システム上にて行うことにより、成績発表当日に学生や保護者・保証人が成績を閲覧することが可能となるだけでなく、郵送に関わる業務時間の大幅な削減にもつながった。

(4) GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度の導入について

今年度より GPA 制度による成績評価制度を導入した。当初は、「優」「良」「可」「不可」「無資格」の五段階により評価を行うこととしていたが、より正確な評価を行うため、「優」の中においても二段階にわけよう改善を行った。また、学生に対して GPA 制度について説明し、学務システム上において学生自身の GPA が閲覧できるよう公表した。さらに、今年度初めて卒業生を送ることとなり、GPA 制度により算出した評価をもとに優秀者に対して表彰を行った。今後においても、奨学金の選考や表彰等で活用していきたい。

5) 資格取得支援業務について

資格支援に関する業務を下記のとおり実施した。

(1) アロマコーディネーターについて

昨年度に引き続き、森ノ宮医療学園専門学校で行われているアロマコーディネーター資格取得講座につき、学内への案内や申込手続きなどの業務を支援した。

(2) スポーツリーダーについて

昨年度までに引き続き、スポーツリーダー資格取得に関する履修指導やスポーツリーダー資格取得講座の開講に関する業務を行った。また、卒業生に対しスポーツリーダー資格取得に関する事務手続きを滞りなく行い、卒業式に該当する学生へスポーツリーダー修了証明書および認定証を配布した。

スポーツリーダー資格取得講座の開講

開講講座	開講時限数	受講人数
健康管理（平成 22 年度入学生のみ対象）	4 時限	53 名
スポーツ経営学	6 時限	87 名

平成 22 年度スポーツリーダー資格取得人数

所属学科	平成 22 年度スポーツリーダー資格取得人数
鍼灸学科	9 名
理学療法学科	11 名

(3) はり師、きゅう師および理学療法士国家試験について

国家試験に関わる事務手続きについて、鍼灸学科および理学療法学科と協力し滞りなく行った。

6) 保健医療学部看護学科開設にむけて

平成23年度より新たに保健医療学部看護学科を開設するにあたり、看護学科設置準備室と連携し、時間割作成や学生数の増加に伴う備品関係の整理等の業務を行った。

7) 既存学科における新カリキュラムの導入について

平成23年度より既存学科（鍼灸学科、理学療法学科）において新カリキュラムを導入することとなり、各学科と連携してそれに伴う文部科学省への提出書類の作成を行った。

8) 講師関連業務について

(1) 兼任講師対応について

初回講義日に各兼任講師に対してオリエンテーションを実施し、授業運営を円滑に行えるようにした。

(2) 平成23年度講義依頼について

平成23年度授業開講準備として、各授業科目の担当教員に書類（講義時間希望調査書、兼任講師台帳等）作成の依頼をし、滞りなく業務を行った。また、シラバスについては学務システム上への入力を依頼した。新規兼任講師については本学所定の書類（教員個人調書等）の作成を依頼し管理を行った。

9) 会議体の運営について

教務室が運営支援担当となっている教授会ならびに教務委員会について、日程調整や書類の取りまとめなど滞りなく実施した。

10) 森ノ宮医療大学教務規程について

平成23年度より保健医療学部看護学科の増設および既存学科における新カリキュラムの導入に伴い、教務に関する規程の整備を行った。以前までは森ノ宮医療大学試験に関する規程により運用していたため、本学学則にもとづき授業運営や試験等の教務に関する事項をすべて含めた森ノ宮医療大学教務規程を制定した。なお、この規程については平成23年4月1日より施行されることとなった。

10. 学生支援室の動向について

1. 奨学金について

1) 日本学生支援機構奨学金制度の積極的な活用について (単位：件)

平成22年度	予約採用	定期採用	緊急・応急採用	合計
第1種	19	25	2	46
第2種	139	89	4	232
合計	158	114	6	278

平成22年度の貸与者総数は257名278件（第一種、第二種の併用貸与者数は21名）である。

2) その他の奨学金

	採用
交通遺児育英会	1名
あしなが育英会	1名
合計	2名

3) 概況報告

〈日本学生支援機構〉

- (1) 平成22年度は予約採用者第1種5名、第2種40名に対し、定期採用及び緊急採用者が25名と予約採用者の方が定期採用者を上回った。これは、高校での予約採用制度活用の推進が図られているからと考えられる。
- (2) 平成22年度初めに内示される定期採用推薦内示数は、第1種7名、第2種17名であった。今年度は定期採用申請者数が1年生（第1種10名、第2種17名※併用4名含む合計23名）2年生（第1種1名、第2種3名）、3年生（第1種1名、第2種1名）、4年生（第1種1名、第2種1名）合計8名と内示数より上回ったため、奨学金規程に基づき厳選な審査を行った結果、1年生第1種3名と2・3・4年生8名に関しては追加採用候補者として申請した。
追加採用では、推薦内示数が第1種1名、第2種5名であったため、2年生第2種3名、3年生第2種1名、4年生第1種1名、第2種1名の合計6名が採用された。不採用となった1年生3名のうち1名に関しては家計急変のため緊急採用とし、2名は来年度に申請することとなった。
- (3) 新入生採用者の割合は59%、1年生118人中70名であった。
- (4) 継続申請に関して、必須科目未修得者（1科目でも）に対する警告指導をした者42名（16%）、進級不可のため廃止となった者6名、退学者4名、辞退者4名であった。よって平成22年度の日本学生支援機構の継続奨学生数は合計250名となった。（平成23年3月31日現在）

〈その他の奨学金〉

交通遺児育英奨学金3年生1名、あしなが育英会奨学金3年生1名である。

〈全体〉

平成23年3月31日現在の全在学生数は494名であり、そのうち250名が日本学生支援機構奨学金を貸与している。うち、第1種と第2種の併用者は15名である。

その他の奨学金については、交通遺児育英会奨学金1名、あしなが育英会奨学金1名が奨学金を貸与している。平成22年度の本学における奨学金貸与者の学生数割合は全学生の約6割を占めている。

2. 福利厚生

1) 学生食堂の設置ならびに運営について

森ノ宮医療大学に待望のカフェテリア形式の学生食堂棟 Medi Café（メディカフェ）が平成22年6月に完成した。これまで大学周辺にはコンビニエンスストアしかなく、昼食の栄養バランスの偏りが心配されていたが、その問題が大きく改善されることとなった。

3. 社会貢献

1) 日本赤十字社主催 団体献血の実施について

社会貢献、地域貢献活動の一環として、また医療人として献血運動の推進に取り組むため、団体献血を以下の通り実施し、多くの学生、教職員の皆様に協力していただいた。日本赤十字社からも感謝の儀をいただき、社会貢献の一環として有意義なものとなった。献血への理解を深め、今後も継続して積極的に献血推進に取り組んでいきたい。

	平成22年7月8日	平成23年1月14日
受付数（人）	22	74
採血数（人）	16	52

4. 情報提供

1) 情報提供の充実について

ステークホルダーに対し、より多く、迅速に情報提供できるようホームページの改善に取り組んだ。特に、本学学生への行事日程および行事報告の増加や就職ページの充実、学生の保護者に対する情報公開なども積極的に行った。今後も学内外にわかりやすく迅速に情報を発信行いたい。

5. 情報収集

1) 学生満足度調査の実施について

平成23年1月に本学在校生に対し、満足度調査を実施した。概要報告は以下の通りである。

(1) 学生回答数

学科名	内容	1年	2年	3年	4年
鍼灸学科	在籍者数（人）	51	62	68	53
	回答者数（人）	44	56	51	41
	回答率	86%	90%	75%	77%
理学療法学科	在籍者数（人）	67	67	71	55
	回答者数（人）	63	63	52	45
	回答率	94%	94%	73%	82%

(2) 調査概要

全学生を対象に大学生生活全般に係る満足度調査と大学への要望や意見などを記述式で回答させる方法にて実施した。

(3) 調査総括

完成年度を迎え、初めての試みとして大学運営に関する学生側の意見聴取を目的として、調査を実施した。多くの学生より、教員とのコミュニケーションや距離感に関して親近感があり満足しているという肯定的な意見が多く聞かれた。反面、施設・設備については図書館、自習スペースの増設、体育館、南校地等の有効活用を求めるものも多く、取組みが可能な課題より関連部署と調整の上、改善に努めたい。大学運営側からの見解だけでなく、学生からの声を定期的に拾い上げることにより、学生と共に良い大学造りを目指したい。

6. 地域連携

1) 大阪商工会議所との地域連携

大阪商工会議所大正・浪速・西成地区の女性会員様に対し、はりきゅうミュージアムの見学会と松原副学長によるセルフケアに関する講演会を実施した。約20名の方にご参加いただき、東洋医学に関する理解を深めていただく機会となり、参加者から継続実施を要請されるほど有意義な講演会となった。次年度以降も継続して行い、地域連携強化と東洋医学の浸透に寄与したい。

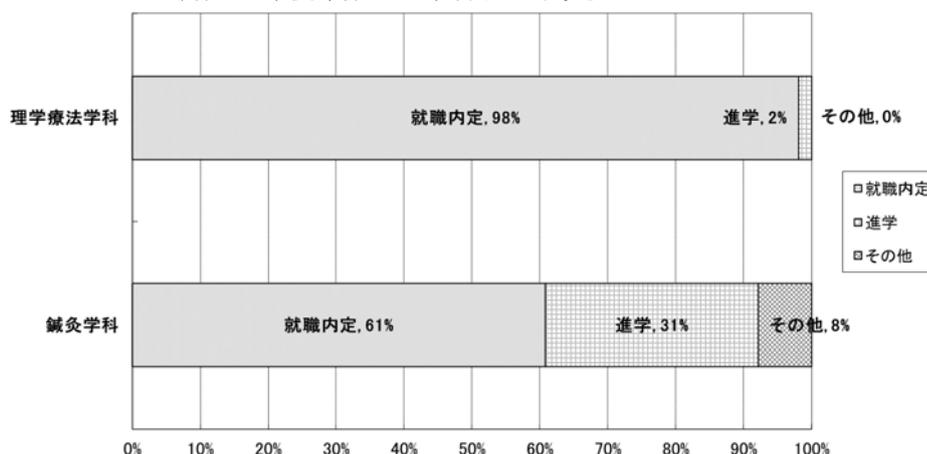
7. 森ノ宮医療大学キャリア支援事業について

1) 卒業生の進路状況について

(1) 進路状況について（平成23年3月30日現在）

平成22年度、就職内定および進学等、進路が決定した学生は理学療法学科で100%、鍼灸学科においては92%となった。鍼灸学科のその他8%については、進路未決定また自己都合により就職を見送ったものが含まれている。

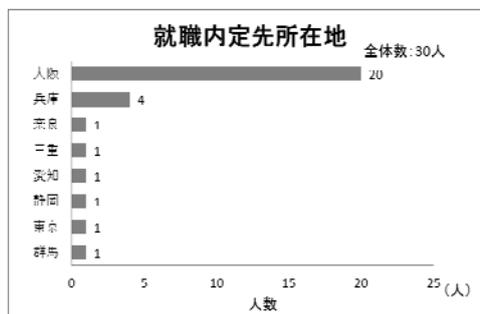
※平成22年度卒業生の学科別進路状況



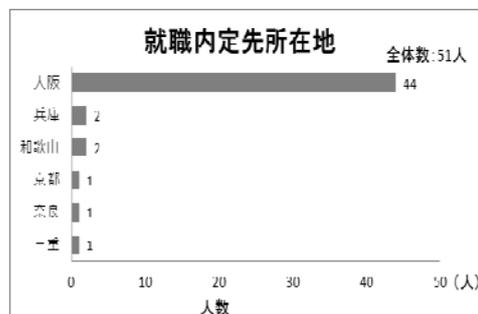
(2) 就職内定先の地域について

就職内定先の地域については、鍼灸学科、理学療法学科とも大阪での就職を決めた学生が大半であった。しかしながら、京都府や兵庫県出身者が自分の希望に見合う求人がなく止む無く大阪で就職を決めた学生もおり、求人獲得の地域性に関し課題を残す結果となった。

※鍼灸学科就職内定先所在地一覧



※理学療法学科就職内定先所在地一覧



2) 求人情報収集について

平成22年度、下記の通り求人情報の収集を行った。

(1) 求人情報の収集方法について

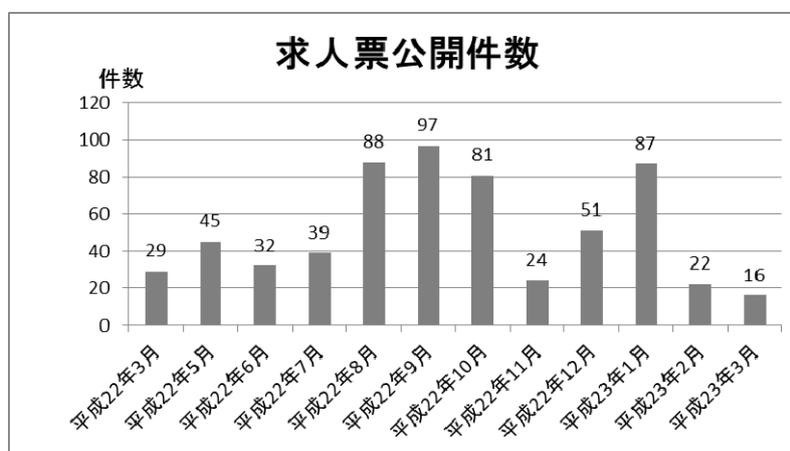
本学において保有する名簿を活用し、各回6,000通（各学科3,000通ずつ）の求人依頼のダイレクトメールを発送し、次の通り成果を得た。

収集方法	採用対象	実施時期	送付対象	返信数
ダイレクトメール発送 (各学科3000通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成22年 5月下旬	近畿2府4県および東北、 関東、中四国、九州の県 庁所在地にある医療施設	66件
ダイレクトメール発送 (各学科3000通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成22年 8月中旬	近畿2府4県および東北、 関東、中四国、九州の県 庁所在地にある医療施設	159件
ダイレクトメール発送 (各学科3000通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成22年 11月中旬	近畿2府4県および東北、 関東、中四国、九州の県 庁所在地にある医療施設	202件

(2) 求人票公開件数について（平成23年3月31日現在）

平成22年度卒業予定者に対する求人情報に関し、以下の通り求人情報を公開した。公開方法は本学1階の就職用掲示板への掲示および学生支援室にて求人票をファイリングし、希望学生に貸し出しを行った。

※ 月別求人票公開件数



(3) 職種別求人件数について

本学宛に送付されてきた求人職種別件数は以下のとおりである。はり師、きゅう師、理学療法士に加えて介護士、作業療法士、柔道整復師などの医療系資格が必要な求人や大学生卒業者を対象とする事務職、営業・販売職など多彩な求人情報が本学に寄せられた。

※職種別求人件数一覧

職種	件数
理学療法士	445
はり師・きゅう師	166
その他の保健医療従事者	87
サービス職業	5
看護師	3
機械・電気技術者その他	2
教員その他	2
高等学校職員	2
事務従事者	2
中学校職員	2
販売従事者	1
その他	10
総計	727

(4) 有効求人倍率について（平成23年3月31日現在）

本学に寄せられた各学科への求人数と求職者数より算出した学科別の求人倍率は全国の大学卒業予定者向けの平均求人倍率を大きく上回る結果となった。

	鍼灸学科	理学療法学科
求人件数（件）	166	445
求職者数（人数）	31	51
求人倍率（倍）	5.35	8.73

※参考数値 平成22年度大学卒業予定者の求人倍率全国平均1.62倍
（リクルートワークス社調べ）

3) キャリア支援セミナーの実施について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、在校生のキャリア支援の一環として医療現場の専門家によるセミナーを以下のとおり実施した。

セミナー名称	実施日時	参加者数	協力団体	講演会概要
活躍の場が広がる医療現場「スポーツジム編」	平成22年6月9日	学生25名	教育後援会	森ノ宮医療学園卒業生である櫻間直樹先生をお招きして、医療業界の現状やトレーニングマシン、施術ベッドを使用しての実践的な実技を交えた講義が行われ、学生にとって非常に理解しやすく、有意義な講演会となった。
医療人として必要なリスクマネジメントセミナー	平成22年10月26日	学生54名	教育後援会	医療現場に従事する医師、弁護士等をお招きして、医療現場で必要なリスクマネジメントに関し、セミナーを開催した。それぞれの視点から、医療事故、医療訴訟、介護現場でのトラブルなど様々な事例を交えて解説があり、有意義なセミナーとなった。
コンディショニングコーチの今～プロ野球編～	平成22年12月21日	学生33名	教育後援会	埼玉西武ライオンズコンディショニングコーチであり、理学療法士の南谷和樹氏をお招きして、プロ野球の世界で活躍するための必要な知識や実体験についての講義があり学生にとって有意義な講演会となった。

4) 就職ガイダンスの開催について

学生支援室において、就職に必要な知識技術の習得を目的とした就職ガイダンスを以下のとおり実施した。

セミナー名称	実施日時	参加者数	ガイダンス概要
第1回就職活動ガイダンス	平成22年3月31日、4月7日	鍼灸学科53名 理学療法学科55名	4年生全員を対象に就職活動の基本に関し、学生支援室員によるセミナーを開催した。就職活動テキストを基に書類作成や面接時のマナーなど就職活動に必要な知識等の解説を行った。

第2回就職活動ガイダンス『就活マナー実践講座』	平成22年 4月23日	学生22名	4年生の希望者を対象に学生支援室員による就職活動に必要なマナーに関する講座を開催した。就職に必要なマナーや身だしなみ、言葉遣い、電話の受け答えなどの知識習得を行った。
第3回就職活動ガイダンス『模擬面接講座』	①平成22年 5月11日 ②平成22年 5月14日	①学生3名 ②学生6名	希望者を対象に学生支援室員による模擬面接を行った。学生が作成した履歴書を基に本番さながらの本格的な面接指導を行った。面接後、学生とともに面接を振り返り、反省材料を抽出し改善策の立案を行った。
第4回就職活動ガイダンス『就活マナー実践講座』	平成22年 6月25日	学生 15名	第2回の未受講者を対象に実施した。
第5回-1就職活動ガイダンス『模擬面接講座』	①平成22年 7月7日 ②平成22年 7月9日	①学生 3名 ②学生 1名	第3回の未受講者を対象に実施した。
第5回-2就職活動ガイダンス『履歴書の書き方講座』	平成22年 8月4日	4年生20名	4年生の希望者を対象に、学生支援室員による履歴書の書き方講座を実施した。自己分析を行い、分析結果を基に自己PR、志望動機、学修成果、大学生活などに関する記載事項の整理を行った。
第6回就職活動ガイダンス『就活マナー実践講座』	平成22年 10月15日	0名	実施予定であったが、参加申込が無かったため未開講とした。
第7回就職ガイダンス『履歴書の書き方講座』	平成22年 10月22日	4年生1名	第5回-2の未受講者を対象に実施した。
第8回就職ガイダンス『12月19日(日)学内就職説明会活用術』	平成22年 12月14日	4年生3名	キャリアコンサルタントを講師とし、大学内で開催される学内就職説明会の活用方法に関するガイダンスを実施した。ブース訪問時の注意事項や身だしなみ、ブース訪問後のアプローチ方法など実践的な内容の講義が行われた。
第9回就職ガイダンス『就職先へのアプローチ方法について』	平成22年 12月24日	4年生9名	キャリアコンサルタントを講師とし、就職先へのアプローチ方法(電話の掛け方、見学予約など)や応募書類の作成方法など実践的な内容の講義が行われた。

第10回就職ガイダンス『就職活動キックオフガイダンス』	①平成23年1月13日 ②平成23年1月14日	①鍼灸学科3年生60名 ②理学療法学科3年生71名	キャリアコンサルタントを講師とし、卒業後のキャリアプランやこれから始まる就職活動の方法（応募書類の書き方、就職先の探し方など）などについて実践的な内容の講義が行われた。
第11回就職ガイダンス『今から動く就職活動』	平成23年2月17日	鍼灸学科4年生7名 3年生8名	キャリアコンサルタントを講師とし、現在4年生就職未内定者およびこれから就職活動に臨む3年生に対し、今から何をすればよいか、書類作成や就職先の探し方、アプローチ方法に関し実践的な内容の講義が行われた。

5) 学生支援室による進路に関する個別指導について

学生支援室において、求人医療施設に関する質問や就職に関する書類作成および面接指導ならびに進学相談などを実施した。

学科	学年	相談者延べ人数
鍼灸学科	4	36名
理学療法学科	4	65名

6) キャリアカウンセリングの導入について

文部科学省学生支援プログラムBを活用し、平成22年12月より平成23年3月までの間、キャリアカウンセラーによる就職相談を実施した。

学科	学年	相談人数	相談件数
鍼灸学科	4	54人	120件
	3	40人	50件
理学療法学科	4	4人	7件
	3	28人	28件

7) 学内就職説明会の開催について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、本学に求人情報をご提供いただいている医療施設を本学講堂にお招きし、学生と求人先との情報交換を目的とした学内就職説明会を実施した。

開催回数	日時	求人学科	来学医療施設数	来場学生数
第1回	平成22年10月10日	鍼灸学科	13施設	60名
		理学療法学科	13施設	
第2回	平成22年12月19日	鍼灸学科	13施設	57名
		理学療法学科	18施設	

8) 就職活動ツール

4年生に対し、就職活動に必要な知識や技術（ビジネスマナー、履歴書の書き方、労働法規等）を記載した就職活動テキストを作成し、配布した。

9) 進路支援事業総括

大学として初めて、就職・進路に関する支援活動を実施した。本学の方針として、各学科の就職指導に対し、学生支援室が後方支援を行う体制をとり、臨床現場の情報を豊富に有する教員とビジネスマナーなどの指導ツールや就職情報収集ツール、就職情報提供ツールを有する学生支援室およびそれを取りまとめる学生支援委員会と連携し、教授会において承認を得たうえで進路支援事業を実施した。

就職・進学情報の収集に関しては、学生支援委員会において方法論を検討し、各学科教員からの就職情報提供と学生支援室にて医療施設の訪問及びダイレクトメールによる求人情報の収集を実施した。

また、森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て大学内において医療施設を招き、学内就職相談会を実施した。求人件数および求人倍率の数値に関しては他大学と差のない数字ではあるが、就職情報の地域性や職種による情報数の開きなど改善を要する課題も山積している。次年度以降においてはこれらを改善するための方法論の検討が急務である。

学生への就職指導については教育後援会などの協力ならびに文部科学省の学生支援プログラムなどもあり、金銭的な支援を受けることができたことから、医療現場で活躍されている方々の講演やキャリアコンサルタントによる講演会など学内だけでなく、学外からの様々な情報を学生に提供することができ、学生のキャリア形成に寄与できたと考える。

進路支援体制を本格稼働した1年目ではあったが、学生の個人的な理由を除くと事実上の進路決定は100%であった。引き続き、学科、学部、委員会など様々な学内組織と連携を強化し、学生の進路支援事業の体制構築および体制強化に努めたい。

8. 平成22年度学生支援室行事報告

1) 理学療法学科4年生 第1回就職ガイダンス

実施日時：平成22年3月31日（水）14：40～16：10

場所：森ノ宮医療大学 314教室

参加人数：学生55名、教職員3名

概況：本学の就職活動テキストに沿って就職試験に必要なマナーを説明した。

2) 鍼灸学科4年生 第1回就職ガイダンス

実施日時：平成22年4月7日（水）10：40～12：20

場所：森ノ宮医療大学 321教室

参加人数：学生53名、職員2名

概況：本学の就職活動テキストに沿って就職試験に必要なマナーを説明した。

3) 第2回就職ガイダンス（就職マナー講座）希望者のみ

実施日時：平成22年4月23日（金）10：40～12：10

場所：森ノ宮医療大学 411教室

参加人数：学生22名、職員2名

概況：参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導し、面接時のマナーについてのDVDを視聴した。

4) 理学療法学科新入生歓迎バーベキュー大会

平成22年4月30日（木）11：00～15：00

場所：南港中央バーベキュー広場（大阪府大阪市住之江区南港東8）

参加人数：学生60名、教員8名

概況：新入生・教職員の交流の場として実施。学生間交流、学生教員交流が活発に行われた。

5) 第3回就職ガイダンス（模擬面接）希望者のみ

実施日：①平成22年5月11日（火）10：40～11：20

②平成22年5月14日（金）10：40～12：10

場所：森ノ宮医療大学 411教室

参加人数：①学生3名、職員2名、②学生6名、職員2名

概況：学生支援室員が模擬面接官となり、模擬面接を実施。入室から退室までの一連の流れを体験し、面接時のマナー、質問内容についてチェック、指導した。

6) 新入生歓迎ライブ

実施日：平成22年5月11日（火）18：00～19：30

場所：森ノ宮医療大学3階理学療法実習室

参加人数：本学学生50名

概況：新入生の歓迎を目的に、軽音サークルが主導となり実施した。学生間交流や教員との交流の場として大変有意義であった。

7) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件

実施日時：平成22年5月17日（月）

内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、1期生勤務希望地の病院鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを6000件送付した。

回答率：鍼灸13%（39件/2998件）理学10%（31件/3000件）

8) 日本学生支援機構予約採用決定者 採用説明会

平成22年5月27日（木）16:30~17:30

場所：森ノ宮医療大学 415号室

参加人数：学生40名、教職員2名

概況：採用決定者に日本学生支援機構から交付された奨学生証・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりに基に、貸与を受けてから終了するまでの注意事項、返還義務についての指導を行なった。また、今年度より返還誓約書を採用後に提出となったため、記載方法、提出書類を説明した。

9) 森ノ宮医療大学教育後援会主催キャリア支援セミナーの実施

実施日時：平成22年6月9日（水）18:00~19:30

場所：森ノ宮医療大学 体育館

参加人数：17名

内容：森ノ宮医療学園卒業生である櫻間直樹先生をお招きして、医療業界の現状やトレーニングマシン、施術ベッドを使用する実践的な実技を交えた講義が行われ、学生にとって非常に理解しやすく、有意義な講演会となった。

10) 森ノ宮医療大学レストラン棟竣工式

実施日時：平成22年6月16日（水）11:00~13:00

場所：森ノ宮医療大学レストラン棟2階

参加人数：来客70名 教職員22名

内容：食堂棟完成に伴い、食堂棟2階にて竣工式が執り行われた。

11) 第4回就職ガイダンス（就職マナー講座）希望者のみ

実施日時：平成22年6月25日（金）10:40~12:10

場所：森ノ宮医療大学 411教室

参加人数：学生15名、職員2名

概況：第2回就職ガイダンスと同様、参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時

に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導し、面接時のマナーについてのDVDを視聴した。

12) 平成22年度 第1回奨学金選考会議

実施日時：平成22年6月28日（月）12:10~

場所：森ノ宮医療大学

参加人数：本学教員2名、職員2名

概況：日本学生支援機構が定める内示数の範囲内で定期採用推薦者を推薦し、承認された。

- 13) 第5回就職ガイダンス（模擬面接）希望者のみ
実施日時：①平成22年7月7日（水）10：40～11：20
②平成22年7月9日（金）10：40～12：10
場所：森ノ宮医療大学 411 教室
参加人数：①学生1名、職員2名、②学生3名、職員2名
概況：第3回就職ガイダンスと同様、学生支援室員が模擬面接官となり、模擬面接を実施。入室から退室までの一連の流れを体験し、面接時のマナー、質問内容について確認、指導を行った。
- 14) 日本赤十字社主催 団体献血の実施
実施日時：平成22年7月8日（木）11：45～16：00
場所：森ノ宮医療大学 201 教室
参加人数：受付数22名、採血数16名、不採血数6名
内容：採血数が16名であり、鍼灸1年生がB型肝炎の予防接種を受けていたことから前回よりも半数以上回る結果となった。次回は積極的に献血に参加するよう促していきたい。
- 15) 日本学生支援機構定期採用決定者 採用説明会
実施日時：平成22年7月29日（木）16：30～17：30
場所：森ノ宮医療大学 411 号室
参加人数：学生20名、教職員1名
概況：採用決定者に日本学生支援機構から交付された奨学生証・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりに基に、貸与を受けてから終了するまでの注意事項、返還義務についての指導を行なった。また、今年度より返還誓約書を採用後に提出となったため、記載方法、提出書類を説明した。
- 16) 第5回就職ガイダンス（履歴書の書き方）希望者のみ
実施日時：平成22年8月4日（水）11：00～15：00
場所：森ノ宮医療大学 411 教室
参加人数：学生20名、職員1名
概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。学生にとって今後の就職活動に役立つ有意義なガイダンスとなった。
- 17) パーゴラ設置
設置日時：平成22年8月
場所：本学南校地グラウンド
概況：森ノ宮医療大学教育後援会より、日よけおよび休憩用としてパーゴラが寄贈された。
- 18) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件
実施日時：平成22年8月
内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、1期生勤務希望地の病院鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを6000件送付した。
回答率：鍼灸0.5%（17件/3000件）理学4.7%（142件/3000件）
- 19) 平成22年度 第2回奨学金選考会議
実施日時：平成22年8月23日（月）17：00～17：30
場所：森ノ宮医療大学
参加人数：本学教員6名、職員2名

概況：日本学生支援機構が定める内示数の範囲内で追加採用候補者を推薦し、承認された。

- 20) 大阪商工会議所主催セミナー「はりきゅうミュージアム」見学会
実施日時：平成22年8月24日（火）10:00～13:00
場所：森ノ宮医療学園専門学校
セミナー名称：つつじ会『はりきゅうミュージアム』見学会
主催：大阪商工会議所大正・浪速・西成支部
運営：森ノ宮医療学園 森ノ宮医療大学
概況：大阪商工会議所大正・浪速・西成地区の女性会員様に対し、はりきゅうミュージアムの見学会と松原副学長によるセルフケアに関する講演会を実施した。約20名の方にご参加いただき、東洋医学に関する理解を深めていただく機会となり、参加者から継続実施を要請されるほど有意義な講演会となった。
- 21) 鍼灸学科新入生歓迎ボーリング大会
実施日時：平成22年10月4日（月）
場所：弁天町イングス
参加人数：学生30名、教員5名
概況：新入生・教職員の交流の場として実施。学生間交流、学生教員交流が活発に行われた。
- 22) 第1回学内就職説明会
実施日時：平成22年10月10日（日）13:00～15:30
場所：森ノ宮医療大学 体育館
参加人数：60名
参加施設：鍼灸学科13施設、理学療法学科13施設概況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験等の情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。
- 23) 第6回就職ガイダンス（就職マナー講座）希望者のみ
実施日時：平成22年10月15日（金）16:20～17:50
場所：森ノ宮医療大学 411教室
概況：実施予定であったが、参加者がいなかったため中止となった。
- 24) 第7回就職ガイダンス（履歴書の書き方）希望者のみ
実施日時：平成22年10月22日（金）16:30～18:00
場所：森ノ宮医療大学 411教室
参加人数：1名
概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等について実施した。
- 25) 森ノ宮医療大学教育後援会主催キャリア支援セミナーの実施
実施日時：平成22年10月26日（火）18:00～19:30
場所：森ノ宮医療大学 401教室
参加人数：12名
概況：医療現場に従事する医師、弁護士等をお招きして、医療現場で必要なリスクマネジメントに関し、セミナーを開催した。それぞれの視点から、医療事故、医療訴訟、介護現場でのトラブルなど様々な事例を交えて解説があり、有意義なセミナーとなった。
- 26) 平成22年度（通算第5回）森ノ宮医療大学教育後援会総会

開催実施日時：平成22年11月6日（土）14:00～15:00 場所：森ノ宮医療大学食堂棟2階

参加人数：役員 会長他8名、保護者会員49名、大学教職員16名

概況：森ノ宮医療大学教育後援会会則案、森ノ宮医療大学役員補充が検討され、全会一致で承認された。総会終了後、学科別懇談会、クラス担任による個別相談会が行われた。

27) 第4回森の港祭（大学祭）

実施日時：平成22年11月6日（土）～11月7日（日）

場所：大学コスモキャンパス、南校地

参加人数：本学学生全員、教職員、地域住民

概況：学生教育、学生間交流、地域交流の場として実施した。学外参加者と多くの交流がなされ大盛況であった。イベントとして実施した健康体力測定、お灸体験には地域住民の参加があり、本学の取り組みなど多くの方にお伝えすることができ有意義なものとなった。

28) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件

実施日時：平成22年11月17日（月）

内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、1期生勤務希望地の病院・鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを6000件送付した。

回答率：鍼灸1.4%（44件/2948件）理学5.2%（158件/3000件）

29) 第8回就職ガイダンス（12月19日（日）学内就職説明会活用術）

実施日時：平成22年12月14日（金）16:20～17:50

場所：森ノ宮医療大学 401教室

参加人数：3名

概況：キャリアコンサルタントによる、12月19日（日）に開催される就職説明会の活用方法・心構えについての講義があった。

30) 第2回学内就職説明会

実施日時：平成22年12月19日（日）13:00～15:30

場所：森ノ宮医療大学 体育館

参加人数：57名

参加施設：鍼灸学科13施設、理学療法学科18施設

概況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験等の情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。

31) 森ノ宮医療大学教育後援会主催キャリア支援セミナーの実施

実施日時：平成22年12月21日（火）16:20～17:50

場所：森ノ宮医療大学 415教室

参加人数：33名

概況：埼玉西武ライオンズコンディショニングコーチであり、理学療法士の資格をお持ちの南谷和樹氏をお招きして、コンディショニングコーチになるための必要な知識や実体験についての講義があり、学生にとって有意義な講演会となった。

32) 第9回就職ガイダンス

実施日時：平成22年12月24日（金）16:20～17:50

場所：森ノ宮医療大学 411教室

参加人数：9名

概況：キャリアコンサルタントによる、就職先へのアプローチ方法についてガイダンスを実施した。

- 33) 第10回就職ガイダンス（鍼灸学科3年生）
実施日時：平成23年1月12日（水）13:00～14:30
場所：森ノ宮医療大学 223 教室
参加人数：60名
概況：キャリアコンサルタントによる、就職活動を始めるにあたっての必要な知識や心構えに関するガイダンスを実施した。
- 34) 第10回就職ガイダンス（理学療法学科3年生）
実施日時：平成22年1月13日（木）9:00～10:30
場所：森ノ宮医療大学 315 教室
参加人数：71名
概況：キャリアコンサルタントによる、就職活動を始めるにあたっての必要な知識や心構えに関するガイダンスを実施した。
- 35) 日本赤十字社主催 団体献血の実施
実施日時：平成23年1月14日（金）11:45～16:30
場所：森ノ宮医療大学 体育館
参加人数：受付数74名、採血数52名、不採血数22名
内容：受付数74名、採血数が52名であり、学生数が少ない曜日にもかかわらず、採血数が今までで一番多い参加数であった。体育館で実施したことが人数増加につながったと思われる。次回からは体育館にて実施し、積極的に献血に参加するよう促していきたい。
- 36) 第11回就職ガイダンス
実施日時：平成23年2月17日（木）11:00～12:30
場所：森ノ宮医療大学 411 教室
参加人数：鍼灸学科4年生7名、鍼灸学科3年生8名
概況：キャリアコンサルタントによる、現在4年生就職未内定者およびこれから就職活動に臨む3年生に対し、これからの就職活動と自己分析から自己PRの方法について講義していただいた。
- 37) 平成22年度（通算第6回）森ノ宮医療大学教育後援会総会開催
実施日時：平成23年3月12日（土）15:00～17:00
場所：森ノ宮医療大学 食堂棟2階
参加人数：役員（会長他3名、保護者会員28名）、大学教職員13名
概況：教育後援会役員改選および会長選出については、会長および監事が選出され、審議終了後、平成22年度事業報告および会計報告、平成23年度事業計画案および予算案についての報告があり、全会一致で承認されました。続いて、学生支援室・教務室室長補佐より平成22年度就職活動報告についての説明が行われた。総会終了後、学科別懇談会、クラス担任による個別相談会が行われた。

9. 森ノ宮医療大学 平成22年度 部活動活動状況

- 1) バドミントン部
部長：上田喜敏
学生代表者：原歩未
昇部：平成20年4月
人数：13名（男性9名、女性4名）
活動日：毎週 月、金
活動場所：①本学体育館（月10日程度）、②舞洲アリーナ（月2日程度）、③大阪府中央体育館（サブアリーナ）

実績：住之江区民バドミントン大会、住吉区バドミントン連盟お楽しみ大会、住吉利用団体交流会バドミントン大会

2) 柔道部

部長：宮本忠吉

学生代表者：宮脇一徳

昇部：平成20年4月

人数：14名（男性12名、女性2名）

活動日：前期（火木金）、後期（火水木）、長期休暇（月水金）

活動場所：①本学体育館（月15日程度）、②武勝館柔道場

実績：昇段試合 於）修道館（大阪）、大阪府下大学対抗柔道大会、大阪府下招待柔道団体優勝大会

3) バレーボール部

部長：中原英博

学生代表者：木下千加

昇部：平成21年6月

人数：20名（男性11名、女性9名）

活動日：不定期

活動場所：①本学体育館（月2回程度）、②舞洲アリーナ（月2回程度）、③住之江スポーツセンター、④港スポーツセンター、⑤川西市立総合体育館、⑥伊丹市立天王寺川中学校、⑦鳥飼体育館、⑧美原B&G海洋センター

実績：TDRカップ4位、ドリーマーズカップ準優勝、合宿（三重県美杉ビレッジ）

4) 陸上部

部長：三木屋良輔

学生代表者：北川真伍

昇部：平成21年7月

人数：13名（男性12名、女性1名）

活動日：不定期

活動場所：①本学外周、②本学南校地（月1回程度）、③長居陸上競技場、④服部陸上競技場、⑤シーサイドコスモ

実績：新日本スポーツ連盟春季陸上記録会、大阪城公園4時間走1位、第46回大阪スポーツ祭典陸上競技大会

5) ハンドボール部

部長：澤田規

学生代表者：橋本優香

昇部：平成21年9月

人数：11名（男性6名、女性5名）

活動日：不定期

活動場所：①本学南校地（月2回程度）、②舞洲アリーナ（月2回程度）、③港スポーツセンター、④相愛大学（本町学舎）

実績：特になし

6) 硬式テニス部

部長：尾崎朋文

学生代表者：田中亮汰

昇部：平成22年6月

人数：15名（男性8名 女性7名）

活動日：毎週 木

活動場所：本学南校地

実績：報知テニスグランプリ優勝（個人の部）

7) バスケットボール部

部長：丹羽亜希美

学生代表者：田村拓巳

昇部：平成22年6月

人数：21名（男性12名、女性9名）

活動日：毎週 木、金

活動場所：①本学体育館（月1回程度）、②舞洲アリーナ（月2回程度）、③関西外国語大学

実績：特になし

8) 軽音部

部長：在川洋平

学生代表者：柘岡功

昇部：平成22年11月

人数：29名

活動日：毎週 月～金

活動場所：①本学構内 ②BASS ON TOP スタジオ

実績：新入生歓迎ライブ、大学祭ライブ、卒業ライブ

施設予約のみ提出しているサークルは、（ダンスサークル、鍼灸2年・理学1年フットサルサークル、鍼灸1年球技サークル、鍼灸1年映画サークル）である。

11. 森ノ宮医療大学 附属図書館について

概況報告

完成年度を迎え、図書館を日常的に利用する学生が多くなっている。上級生の熱心な姿勢は自然と下級生にも伝わり、入学当初から積極的に図書館を利用する1年生の姿も見かけられる。

平成22年度は反響音の大きさが悩みの種だった閲覧室の吸音工事をした。また、パソコンの増設を求める声に答えてデスクトップ型パソコン10台とプリンタ1台を増設し、貸出用のノートパソコン8台と合わせて合計45台を提供できるようになった。

20年度から始まった「ブックハンティング」(学生と一緒に書店に出かけ、自由に選書してもらう企画)は今年度も2回開催(第5回・第6回)し、図書館行事としてほぼ定着した。

また、今年度から土曜日にも開館できることになり、毎回20名前後の利用があった。

(1) 理念と目標

学生及び教職員の教育研究支援のために、「鍼灸学」・「基礎医学」・「リハビリテーション医学」・「理学療法学」・「スポーツ医学」関連の資料収集に努める一方、「哲学」・「心理学」・「歴史」・「自然科学」・「文学」などの知的好奇心を満たす分野も充実させていく。

また、学生支援のための幅広いレファレンスや、NACSIS-ILLを利用しての複写文献の依頼等、情報センター的機能も備えていく。

(2) 活動報告

a. 年間開館日数

通常開館 237日 (月～金 8:00～19:30)

土曜開館 47日 (土 11:00～17:00)

b. 平成22年度の活動

日程	場所	概要	参加
2010/4/	大学	オリエンテーション(図書館ガイダンス)	近藤・井上
2010/6/18	九州共立大学	私大図協西地区部会総会	倉林
2010/6/24	大阪大学附属図書館	近畿イニシアチブ初任者研修	近藤
2010/7/3	ジュンク堂堂島店	第5回ブックハンティング	近藤・井上
2010/7/15	国立国会図書館関西館	第14回資料保存研修	近藤
2010/8/5	大阪成蹊大学	私大図協西地区部会第1回阪神地区研究会	井上
2010/8/20	神戸市外国語大学	近畿機関リポジトリ連続研修会①	井上
2010/9/9-10	西南学院大学	私大図協総会・研究会	倉林
2010/9/24	龍谷大学大宮学舎	近畿機関リポジトリ連続研修会②	井上
2010/9/28-30	神戸大学	著作権講習会	近藤
2010/9/21	金城学院大学	私大図協西地区部会研究会	井上
2010/9/22	奈良女子大学	近畿機関リポジトリ連続研修会③	近藤
2010/12/5	ジュンク堂堂島店	第6回ブックハンティング	近藤・井上
2010/12/10	神戸女子大学	近畿機関リポジトリ連続研修会④	井上
2010/12/24	関西国際大学	私大図協西地区阪神地区相互利用担当者連絡会	近藤
2011/1/20	大阪市立大学	近畿機関リポジトリ連続研修会⑤	井上
2011/2/17	大学	図書館アンケート(第4回)	図書館
2011/2/17	大阪女学院大学	私大図協西地区部会第2回半新築研究会	井上
2011/2/25	関西大学	私大図協西地区部会阪神地区第2回定期総会	井上
2011/3/22-25	大学	蔵書点検	図書館

(私大図協=私立大学図書館協会)

(3) 所蔵資料

a. 図書

項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
所蔵図書冊数		7,455	10,414	11,981	14,172	17,509		
内 訳	登録図書冊数	2,964	4,814	6,419	7,474	11,697		
	内 訳	うち購入図書	2,447	3,336	4,366	4,886	6,006	
		内 訳	和書	2,126	2,784	3,736	4,229	5,312
			洋書(中国語含)	321	465	473	487	520
			製本雑誌	0	0	0	0	0
			視聴覚資料	0	87	157	170	174
	うち寄贈図書	517	1,478	2,053	2,588	5,691		
	内 訳	和書	507	1,433	1,994	2,485	5,368	
		洋書(中国語含)	0	9	13	15	100	
		製本雑誌	10	10	16	35	35	
		視聴覚資料	0	26	30	53	188	
	未登録図書冊数		4,491	5,600	5,562	6,698	5,812	
	内 訳	年間寄贈図書冊数	2,319	2,587	537	1,671	2,217	
寄贈図書の年間登録冊数		517	1,478	575	535	3,103		
移管図書		2,689	2,689	2,689	2,689	2,689		

※1 製本雑誌は図書として集計する。

※2 前年度の未登録図書冊数+次年度の年間寄贈図書冊数-寄贈図書の年間登録冊数で計算

※3 専門学校より移管した貴重書 登録後は登録図書冊数のくぐりに移動

b. 雑誌

項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
受入雑誌総タイトル数		0	92	112	138	156	
内 訳	購入雑誌タイトル数	0	49	57	56	66	
	内 訳	和雑誌	0	36	43	41	50
		洋雑誌(中国語含)	0	12	12	12	13
		電子ジャーナル(データベース)	0	1	2	3	3
	寄贈雑誌タイトル数	0	43	55	82	90	
	内 訳	和雑誌(紀要含)	0	36	47	72	79
洋雑誌(中国語含)		0	7	8	10	11	

(井上洋子)

12. 森ノ宮医療大学の施設設備について

東棟は完成年度にはいり、校具及び備品類も完備し学生達に快適な学習環境を提供できるように整備した。平成22年3月1日から着工中の食堂棟「メディカフェ」が5月31日に完成した。自然に優しい間伐材を使用した木造2階建ての洒落た建物である。学生達に安全で美味しい食事を提供できるように大学オリジナル米や低農薬の有機野菜を使用している。食堂は6月15日からオープンした。1階約100名、2階約250名収容できる大食堂である。

6月15日から平成23年4月開設の看護学科のための西棟を着工した。鉄筋コンクリート6階建の白亜の校舎である。

平成23年3月11日西棟が竣工した。カラフルで若々しくデザイン性の高いしゃれた建物である。

1階の中央空間は、ゆったりとしたスペースが広がり2階には曲線の階段で2階の回廊に繋がっている。また天井部分は、天気の良い日には3階屋上ガラスブロックより明りがもれ、ガラス張りの2基のエレベーターが上下し、未来的空間を展開している。

6階の100人教室2室は、パーティションで仕切られ、扉を取り外すと200人教室として使用が可能である。その教室では、3学科共通で医療の基礎知識を学ぶことができ、また学術会議等の開催も可能である。

また、5階のスタジオでは、体育館にあったウェイト機器を移設して本格的に筋肉トレーニングができる空間となっている。

4階の基礎看護学実習室では、24台の電動式ベッドが配置され、ベッドの仕切りも工夫され、カーテンではなくロールスクリーンで仕切られ、すっきりとした実習室となっている。それに4台のプラズマディスプレイが実習室の両側に配備され、ビデオカメラにより実況が映し出され、多人数での実習授業が可能となるように工夫されている。また、実験室にはドラフトチャンバーが設置され、より高度な実験・研究が可能となった。

3階の地域・老年看護学実習室及び成人・精神看護学実習室も様々な工夫がなされ、使いよい実習室となっている。また3階には屋上テラスがあり、天気の良い日や、気候の良い季節は、一息いれられる良い空間となっている。

2階には学生ラウンジがあり、デザイン性の高いソファが置かれている。さまざまな交流やくつろげる空間を創出している。そこからはブリッジで「MEDI CAFÉ」に渡ることが出来、雨の日でも濡れなく渡れるようになり、東棟、西棟、食堂棟と結ばれた。

2階の母性・小児看護学実習室は、最新の医療機器が設置され、最新の技術が修得できるようになっている。

西棟の新校舎は、より実践的に又系統的に学問が学べるように、配置され、工夫され最新の看護技術を学べるようになっている。

(西堀 文雄)

1.3. 森ノ宮医療大学 附属鍼灸施術所（はり・きゅうコスモス治療院）について

1. 組織

鍼灸師免許を有する鍼灸学科専任教員および研究員等がローテーションで鍼灸施術を行った。また、施術所専任の技術職員が全曜日にわたって鍼灸施術に従事した。施術者の内訳は、鍼灸学科教授3名(山下、中村、倉林)、准教授1名(坂本)、講師2名(松熊、鍋田)、助教3名(辻丸、涌田、増山)、技術職員1名(青井)、客員研究員1名(天野)、研究員2名(林、古瀬)である。(人員配置の平均:1日3.2名)

受付業務は、近藤図書館員に半日依頼するほかは、原則として施術者自身が電話予約対応から料金受取まで全過程を行っている。

2. 施術時間および料金体系

(1) 初診料(初診時のみ)	1000円(消費税込)
(2) 通常料金	3000円(消費税込)
(3) 提携施設・団体料金	2000円(消費税込)
(4) 学園職員	1000円(消費税込)
(5) 学園学生(初診料免除)	500円(消費税込)
(6) 小児鍼	500円(消費税込)

実習協力料金の設定: 臨床実習への協力を承諾した上記(2)(3)の患者は1,500円

提携施設・団体: 近隣で社会的連携が緊密になると予想される、あるいは患者紹介をしていただけたような施設や団体などを提携施設・団体として施術料の優遇を行っている。現在指定した施設・団体は以下のとおり。

近鉄ビルサービス 悦(株式会社ガイア)
 リバーガーデン ローレルスクエア大阪ベイタワー
 山口コスモデンタルクリニック 全労災大阪府本部
 関西インターメディア(FM COCOLO) NTTドコモ
 シーサイドレジデンスコスモスクエア咲洲

3. 主な宣伝活動

大学正面玄関の看板、コスモスクエア駅の携帯用時刻表での広告、大学ホームページ、学園校友会報への掲載などを行った。

(山下 仁)

14. システム・情報系について

1. 学生用パソコンについて

① 専門学校

H22年度 106 教室に講義用パソコンを 35 台設置した。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	2階3階	4台
学内貸し出し用	教職員室	4台
図書館蔵書検索用	図書館	2台
求人検索用	2階受付前	2台
講義用 (H22年度導入)	106教室	35台

② 大学

H22年度閲覧室にパソコンが 10 台追加設置した。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧、レポート作成	閲覧室	35台
学生貸し出し用	図書館	10台
図書館蔵書検索用	図書館	2台
講義用	401教室	75台

2. 学生用無線 LAN アクセスポイントについて

学生対象に登録制にて無線アクセスポイントを解放している。

① 専門学校

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	3階学生ホール	1台

② 大学

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	キャナルホール	1台

(柘植 浩)

15. 職員数について

●職員数(専門学校)

平成22年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	34	70	104
職員	21	2	23
診療所職員	18	1	19
アメリカニク		3	3
合計	73	76	149

●職員数(大学)

平成22年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	41	94	135
職員	18	2	18
合計	59	96	155

(田畑 京美)

16. 加盟団体一覧

加盟団体一覧		備考
1	日本私立大学協会	学校関係
2	日本私立大学協会関西支部	
3	全国専修学校各種学校総連合会	
4	大阪府私立大学協会	
5	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	
6	咲洲高等学校学校協議会	
7	NPO法人学校経理研究会	
8	社団法人東洋療法学校協会	鍼灸関係
9	全日本鍼灸学会	柔道整復関係
10	社団法人全国柔道整復学校協会	
11	一般社団法人日本リハビリテーション学校協会	理学療法関係
12	一般社団法人日本リハビリテーション学校協会近畿ブロック協議会	
13	社団法人日本医師会	診療所関係
14	社団法人大阪府医師会	
15	社団法人東成区医師会	
16	大阪商工会議所	経済団体
17	関西生産性本部 学校経営品質向上研究会	
18	関西プレスクラブ	広報関係
19	コスモスクエア地区開発協議会	地域団体
20	東成区防犯協会	
21	東成区第1町会	
22	社団法人大阪市防火管理協会	
23	東成防火協力会	
24	中本連合中本第一町会	

● 正味資産の推移

(単位：円)

	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
正味資産 (総資産-負債)	99億8511万 3494	94億9371万 1390	89億7221万 5386	79億2012万 2837	72億7369万 9640
資産増加額	4億9140万 2104	5億2149万 6004	10億5209万 2549	6億4642万 3197	11億1489万 3536

● 平成22年度 決算概要

(単位：円)

No.		平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	説明
1	帰属収入	2,462,253,774	2,267,298,934	2,594,415,954	2,073,032,126	消費収支(単年度) の収入合計
2	消費支出	1,970,851,670	1,745,802,930	1,542,323,405	1,426,608,929	消費収支(単年度) の支出合計
3	収入超過	491,402,104	521,496,004	1,052,092,549	646,423,197	1-2
4	基本金組入	-1,309,217,641	-477,914,987	-2,031,226,651	-122,209,409	将来存続に向けての 最低限の設備など蓄え
5	差引収入超過	-817,815,537	43,581,017	-979,134,102	524,213,788	3-4
6	前年度繰越収入超過額	503,797,148	460,216,131	1,439,350,233	915,136,445	差引収入超過額の 累計額
7	基本金取崩	49,154,338	0	0	0	
8	翌年度繰越収入超過額	-264,864,051	503,797,148	460,216,131	1,439,350,233	5+6+7

IV. 森ノ宮医療学園附属診療所、同施術所

1. 業務日程

●みどりの風クリニック

- ①診療日数 245日
- ②休診日
 - 休日・祝日 67日
 - 土曜休診日(第1, 3土曜日) 23日
 - 木曜休診日(第2, 4木曜日) 22日
 - 夏季休診日 5日(8月12日～16日)
 - 年末年始休診日 6日(12月29日～1月3日)
- ③職員健康診断
- ④森ノ宮医療大学学生検診
- ⑤専門学校学生検診
- ⑥日本東洋医学会 内科のみ
- ⑦日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (7月2日～4日)
- ⑧毎月第4(or第5)土曜:クリニック・鍼灸院定例会議
- ⑨柔道整復学科臨床実習(昼間部・夜間部)

●みどりの風鍼灸院

- ①診療日数 242日
- ②休診日
 - a) 日曜・祝日 67日
 - b) 土曜休診日(第1・第3) 23日
 - c) 木曜休診日(第2・第4) 22日
 - d) 夏期休診日 5日(8/12～8/16)
 - e) 年末年始休診日 6日(12/29～1/3)
 - f) 全日本鍼灸学会:大阪 2日(6/11, 6/12)
- ③全日本鍼灸学会(大阪):3日間(平成22年6月11日～13日)
- ④日本臨床鍼灸懇話会全国集会(大阪大会):2日間(11月27日、28日)
- ⑤毎月第4(or第5)土曜:クリニック・鍼灸院定例会議

2. 診療体制について

●みどりの風クリニック診療体制

休診日(日曜・祝日・第1, 3土曜日、第2, 4木曜日)

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:00(内科、整形)	○	○	○	○	○	○
午後 1:30～ 4:30(内科)	○	○	○	○(整形)	○	×
夜間 4:30～ 7:30(整形)	○	○	○	×	○	×

●みどりの風鍼灸院施術体制

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～11:00	○	○	○	○	○	○
午後診 1:30～4:00	○	○	○	○	○	×
夜間診 4:30～7:30	○	○	○	×	○	×
休診日	日曜日、祝日、第1・3土曜日、第2・4木曜日					

3. 人事について

●みどりの風クリニック

医師：宮崎義雄、田中邦雄（10月退職）、新谷卓弘（2月・3月土曜日非常勤）

看護婦：細澤由美子、村尾友美、尾崎かおる

薬剤師：山路真理子（3月退職）

受付：秦麻衣子、廣田弥生（8月入職）、阪井加子（8月入職）、
赤松（9月退職）、柳田（7月退職）

放射線技師：坂口和也

リハビリ：大森淳次、池上誠一、川口善教

カウンセラー（3月まで）：月曜日午後：中西

火曜日午後：平野

水曜日午後：藤井

土曜日午前：山崎

●みどりの風鍼灸院

鍼灸師：中島茂、成田真和、于思・菊谷敏士

尾崎朋文（教務：金曜日午前）

志垣清湖（教務：水曜日午前）

① 転属者：森ノ宮医療学園附属

みどりの風鍼灸院

鍼灸師 于 思

平成22年4月

鍼灸師 菊谷敏士

平成22年4月

② 転属者：森ノ宮医療大学附属

コスモス治療院

鍼灸師 青井晃子

平成22年4月

③ 退職者：森ノ宮医療学園附属

みどりの風鍼灸院

鍼灸師 塩澤智万

平成22年4月

4. 平成22年度患者動向について

●みどりの風クリニック

患者総数は21,266人で内訳は内科7,307人、整形外科13,959人となっている。整形外科は年度評価は初めてとなる。内科は途中田中医師の退職により診療時間が大きく減少したため比較の意味は少ないが、21年度内科患者数は9,594人であり2,287人の減少となった。

●みどりの風鍼灸院

年間利用患者総数は3,798人(月平均316.5人)となる。前年の4,834人と比べて1,036人(21.4%減)と患者数は減少した。

新患者数は147人で前年の206人と比べて59人(28.6%減)減少となる。

1日平均利用者は15.7人で前年の18.9人と比べて3.2人(16.9%減)減少した。

5. 平成22年度収入動向について

●みどりの風クリニック

平成22年度の保険診療報酬売上収入は129,266,770円で、内訳は内科63,891,310円、整形外科65,375,460円である。予算における保険診療収入予測は124,350,000円であり、約4%の増収になった。

●みどりの風鍼灸院

平成22年度の鍼灸院総収入は2,834万円で前年3,080万円と比較し246万円(8.0%減)減になる。治療収入は1,200万円で前年1,461万円と比較して261万円(17.9%減)減少している。予算案売上収入3,425万円と比べて17.3%減になった。

●その他の収入

平成22年度の臨床実習収入は、クリニック1,320,000円、鍼灸院16,000,000円であった。健康診断による収入は7,268,000円、クリニック自費診療収入は約4,000,000円であった。

6. 主な支払について

●主な支出項目の予算実績対比率

クリニックにおいては、前年度と比較が不可能なため予算に対する実績比率を示す。医業材料部門では、医薬品111.257%、医療消耗品42.171%、検査委託料65.534%となっている。人件費は、医師給与75.447%、看護師給与96.011%、技術員給与90.746%、事務員給与91.261%となった。

●みどりの風鍼灸院材料費

平成22年度の鍼灸院消耗品は99万円で前年138万円と比較して39万円減少となった。

(宮崎 義雄・中島 茂)

V. 森ノ宮医療学園出版部

1. 概況報告

平成22年度は、季刊雑誌「鍼灸 OSAKA」の100号を迎える記念すべき年度であった。年度中の97号、98号、99号の3号は予定どおり発刊し、100号は101号と合冊として言語化の難しい「効かせる鍼灸の技」を特集した。これまでにない取り組みとして日本だけでなく中国、韓国の執筆者にも原稿を依頼した。発刊は年度末になってしまったものの、100号記念にふさわしい充実した内容となり、読者から評価していただいた。

また、新刊単行本は、懸案の『ツボ暗記カード国際標準経穴対応版』、『ポケット鍼灸臨床ガイド第2刷』のほか、計画外の『もっと身近にアロマセラピー』『臓腑経絡学 第3版2刷』を出版することになった。

『ツボ暗記カード国際標準経穴対応版』は、旧版の内容をWHO・WPRO国際標準経穴に改訂し、図も旧版よりさらに詳細に正確に描き直したため、監修者とともに何度も校正を重ね、制作には1年余りの時間を要してしましたが、質の高い商品を作ることができた。出版後はすぐに反応があり、大型書店では『ポケット鍼灸臨床ガイド第2刷』とともにスペースをとって平積みで販売していただくことができた。

『臓腑経絡学 第3版2刷』は、教科書採用のみならず、書店でもコンスタントに売れるため版と刷を重ねている。

『もっと身近にアロマセラピー』は本学園専門学校教員 森広子さんの著書であり、一般向けの書籍である。新聞やフリーペーパー等に読者贈呈をするパブリシティをしかけ、販売促進をした。専門学校のアロマ講座の広報書としての役も果たす書として期待される出版物である。

そのほか、今年度はスマートフォンのアプリとして『ツボ暗記カード iPhone アプリ版』を開発することができた。アプリとしては高額な定価（3800円）にもかかわらず、反応は良好であり、AppStoreにアップ後3カ月余りで有料版126件のダウンロードがあった。見本としてアップされている無料版は、毎日100～200件前後のダウンロードが行われている。

校友会報の制作の受注も前年度より継続し、無事、年2回納品することができた。その他の制作物としては、校友会会員向け「みどりの風クリニックの利用案内」を受注し、納品した。

教科書販売・図書室販売も例年どおり行った。ただ、今年度は図書室図書の販売が思わしくなく、例年より売上減となった。

また、今年度は、全日本鍼灸学会が大阪で開催されたこともあり、はりきゅうミュージアム特別展として開催された「切手のなかの鍼灸・東洋医学」（2010/05/27～2010/09/24）の展示・ポスター・リーフレット・パネルの制作・パブリシティ・全日鍼灸学会学術大会で行われたランチョンセミナーを全面的にサポートした。

書店営業の成果として、韓国・釜山西面（プサン・ソミョン）の書店「栄光図書」との取引が始まった。日本語の書籍でも韓国では売れるようで、取引には好意的に応じてくれた。

数的には、今年度売上は、予算の97.6%を達成したものの昨年比は、97.1%と、-2.9%の伸び率に止まった。この要因の多くは、予算比・昨年比ともに大きく下回った図書館図書販売、そして新刊単行本の出版が年度後期に集中したことと関連していると思われる。しかし、日本全体の経済低迷、なかでも出版業界不況と言われる社会状況のなかで、-2.9%に止まったことは、新刊単行本の出版が後半に集中したとは言え、暗記カードやポケットブックといった学習参考書が強い商品であったことを裏付けた。

2. 制作・出版物報告

- 1) 「鍼灸 OSAKA」の発行 〈97～99号 各1800部 /100・101合併号3000部 発行〉

No	発行日	特集
第97号	2010/5/10 発行	ストレスマネジメントと鍼灸
第98号	2011/9/11 発行	COPD(慢性閉塞性肺疾患)
第99号	2011/12/10 発行	不妊症・不育症
第100/101合併号	2011/3/26 発行	効かせる鍼灸の技―日中韓の達人に学ぶ―

- 2) 新刊本およびスマートフォン用アプリケーションの発行

- * 「臓腑経絡学 第3版2刷」 藤本蓮風著 1,500部発行
発行日：平成22年12月24日
価格：3,990円(税込み)
- * 「もっと身近にアロマセラピー」 森 広子著 2,000部発行
発行日：平成22年10月22日
価格：1,575円(税込み)
- * 「ツボ暗記カード国際標準経穴対応版」 松岡憲二, 尾崎朋文監修 3,000部発行
発行日：平成22年10月28日
価格：3,580円(税込み)
- * 「ポケット鍼灸臨床ガイド第2版」 坂本 歩監修 3,000部発行
発行日：平成22年11月30日
価格：2,940円(税込み)
- * 「ツボ暗記カード iPhone アプリ版」 松岡憲二, 尾崎朋文監修 ダウンロード販売
発行日：平成22年12月24日
価格：3,800円(税込み)

- 3) 編集・制作

- * 「森ノ宮医療大学理学療法学科国試対策問題集」
- * 「校友会報」(年2回 No. 6 No. 7)
- * 「みどりの風クリニック利用案内」
- * 「ミュージアム特別展(切手のなかの鍼灸・東洋医学)ポスター・パネル
- * 「クリニック院長挨拶状」

- 4) 次年度継続制作中の出版物タイトル

- * 『はり灸史跡めぐり』取材・執筆中
- * 『中国針灸学術史大綱』(黄龍祥著 日本語訳)第1部翻訳完了・校正中
- * 『鍼灸 Q&A 銅人形つき』執筆中
- * 『東洋医学系評価学 第3版』中田敬吾著 校正済 出稿中

3. 平成22年度事業計画進捗状況

	22年度計画制作物・事業	実績・進捗状況	
季刊誌	鍼灸 OSAKA97	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA98	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA99	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA100	100/101号記念号年度内発刊	了
単行本	ツボ暗記カード国際標準経穴対応版	出版	了
単行本	ツボ暗記カード iPhone アプリ	アップ済み	了
単行本	ポケット鍼灸臨床ガイド第2版	出版	了
単行本	技を磨く鍼編・灸編合本	鍼灸 OSAKA100/101号として出版	中止
書籍販売	教科書販売	予定通り完了	了
書籍販売	図書室図書販売	予定通り完了	了
制作受託	校友会報 Vol. 6、7	制作完了	了
単行本	鍼灸 Q&A 銅人形つき	23年度に出版延期	継
単行本	はり灸史跡めぐり	24年度に出版延期	継
単行本	中国針灸学術史大綱第1部(翻訳)	23年度に出版延期	継
単行本	医師のための鍼灸ガイド	24年度に出版延期	継
	22年度計画外制作物	実績・進捗状況	
制作受託	クリニック利用案内	制作済み	了
単行本	臓腑経絡学 改定3版第2刷	出版	了
単行本	もっと身近にアロマセラピー	出版	了
単行本	東洋医学評価学・伝統医学概論	校正済 出稿中	出版待ち
イベント	ミュージアム特別展	切手展開催、全日ランチョンセミナー開催	了
制作受託	クリニック院長挨拶状	納品済	了

5. 営業活動

● 展示販売

展示会名	場所	販売期間
第61回日本東洋医学会学術総会	名古屋国際会議場	平成22年6月4～6日
第59回全日本鍼灸学会学術大会	グランキューブ大阪	平成22年6月11～13日
第19回刺絡学会学術大会	森ノ宮医療学園専門学校	平成22年6月26日・27日
第5回日本鍼灸師会全国学術大会	京都	平成22年10月11・12日
日本伝統鍼灸学会第38回学術大会	アクロス福岡イベントホール	平成22年10月30・31日
日本小児はり学会第4回学術大会	神戸女子大学教育センター	平成22年10月31日

● 書店訪問・営業

書店訪問は、主に学会出展時に開催地域を回ってくることが多い。書店や取次ぎ書店に顔を出すことで、担当者とのコネクションができ、新刊の販売に力を入れてくれることを実感している。

今年度書店訪問先

名古屋：丸善栄店、三省堂高島屋店

福岡：ジュンク堂福岡店、紀伊国屋福岡本店、井上書店小倉店、喜久屋書店小倉店、ブックセンタークエスト小倉店

東京：八重洲ブックセンター、丸善丸の内店、三省堂有楽町店、三省堂神保町本店

韓国：栄光図書釜山本店、文友堂書店釜山本店、教保文庫光化門店と本社洋書仕入れ担当

● 取扱書店一覧

WEB 書店 Amazon
 Fujisan (鍼灸 OSAKA のみ)
 紀伊国屋 BookWEB
 7&I
 メテオメディカルブックセンター
 YAHOO! ブックスなど

北海道	丸善・札幌南一条店 コーチャンフォー・ミュンヘン大橋店	岐阜県	喜久屋書店・大垣店
宮城県	アイエ医書センター 丸善・仙台アエル店 ジュンク堂書店・仙台店	三重県	ワニコ書店
福島県	八重洲ブックセンター・郡山店	京都府	紀伊國屋書店・京都御池店 ジュンク堂書店・京都店 ジュンク堂書店・京都 BAL 店 アバンティブックセンター
栃木県	大学書房メビウス	大阪府	旭屋書店・本店
群馬県	喜久屋書店・太田店		紀伊國屋書店・梅田本店

千葉県	三省堂書店・そごう千葉店 丸善・津田沼店 宮脇書店・印西牧の原店	紀伊國屋書店・本町店 ジュンク堂書店・大阪本店 ジュンク堂書店・難波店
東京都	三省堂書店・神保町本店 三省堂書店・東京女子医大店 東方書店 亜東書店 いざわ書林 燎原書店 新樹社書林 丸善・本店 八重洲ブックセンター・本店 有隣堂・渋谷医学書センター 旭屋書店・池袋店 ブックファースト渋谷店 紀伊國屋書店・本店 紀伊國屋書店・新宿南口店 医道の日本社新宿店 ジュンク堂書店・池袋店 たにぐち書店 オリオン書房・ノルテ店	関西医書 丸善・なんばOCAT店 神陵文庫・大阪支店 田村書店・千里中央店 神陵文庫・本社 ジュンク堂書店・三宮店 ジュンク堂書店・三宮駅前店 ジュンク堂書店・姫路駅前店
神奈川県	有隣堂・医学書センター 有隣堂・川崎BE店 あおい書店横浜店 ACADEMIA・港北店 ACADEMIA・ちはら台店	兵庫県 島根県 岡山県 広島県 徳島県 香川県
長野県	明倫堂書店	島根井上書店 泰山堂書店 泰山堂書店・鹿田店 丸善・シンフォニービル店 喜久屋書店・倉敷店 井上書店 井上広文館 フタバ図書・TERA 医書
新潟県	考古堂書店	徳島県 香川県
富山県	文苑堂書店・福田本店	久米書店 久米書店・医大前店 宮脇書店・本店 宮脇書店カルチャースペース 宮脇書店・南本店
石川県	前田書店	愛媛県 福岡県
静岡県	丸善・新静岡店 ガリバー	丸三書店 丸善・福岡ビル店 紀伊國屋書店・福岡本店 紀伊國屋書店・福岡天神店 ジュンク堂書店・福岡店 喜久屋書店・小倉店 紀伊國屋書店・長崎店 ジュンク堂書店・大分店
愛知県	大竹書店 丸善・名古屋栄店 三省堂書店・高島屋店	長崎県 大分県 鹿児島県 沖縄県 韓国釜山
		ジュンク堂書店・鹿児島店 考文堂 栄光図書

(井上悦子)